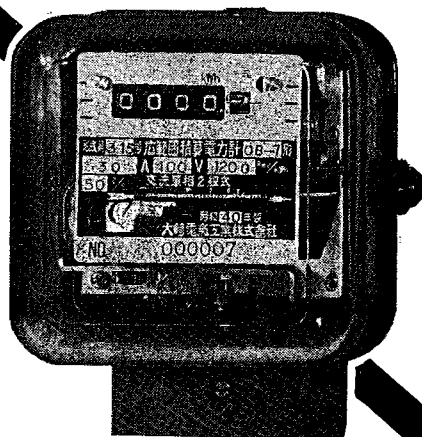


Osaki

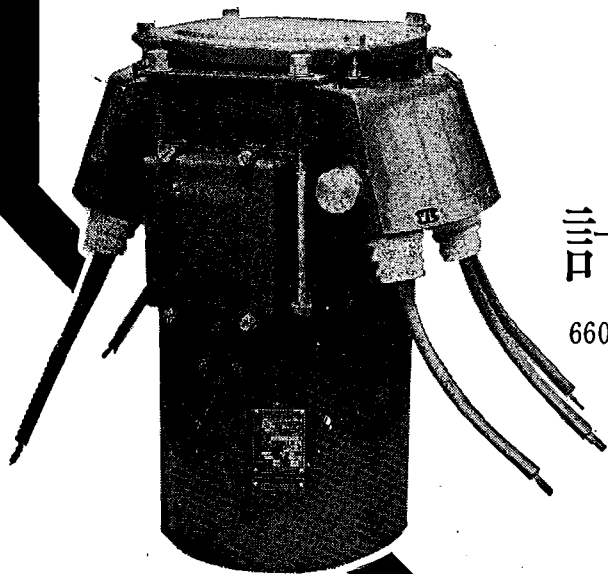
最高の確度と信頼度を持つ

# 電力量計

单相用	OB-7形
3相用	OW-7形
精密用	OP-3形



OB-7形広範囲单相積算電力計



# 計器用変成器

6600V用重予型PCT PDN形

—主要製品—

電力量計・電流制限器  
計器用変成器・電圧調整器  
配電盤・分電盤・制御盤



# 大崎電氣工業株式会社

本社・五反田工場 東京都品川区東五反田2-2-7 電話東京(443)7171代表  
 蒲田工場 東京都大田区多摩川2-8-1 電話東京(732)6511代表  
 埼玉工場 埼玉県入間郡三芳村大字藤久保 電話0492-61-1205

## 「ミュンヘン」への道

渡欧し、武者修業をしいた選手団が帰ってきた。無事に、たくましくなっている……

ルーマニアでの厳しい合宿。その後の試合の強行日程を無事消化して、しかもタスマジャン杯三位という、予期以上の成績をもって帰ってきた。

このタスマジャン杯三位という事は、手放して喜べる成績ではないが、我が国のハンドボールに一筋の明るい光明をもたらしたものと高く評価していることと思う。

世界のベスト8入り。云うはやさしく行なうには誠に困難な道である。

チェコ、ルーマニア、西ドイツ、ソ連、デンマーク、東ドイツ、ハンガリー、ユーゴスラヴィア、デンマークとすぐに十ヶ国近い強い国々の名が思い浮ぶ。いずれをとっても、伝統と強い厳しい練習の上につちかわれたチーム力をもっている国々であり、これらの一つないし二つを破らないことには、ベスト8入りは果すことはできない。

それが今回のタスマジャン杯では、ユーゴスを破り、ハンガリーと分け、結局敗れはしたけれども、ソ連、ルーマニアとも

まずまずの試合を行なっている。これはチーム力が増加した結果とみられよう。

従来、とても歯がたつ相手ではないと考えられていた諸国と対等に近い試合をしてきたという事、これは非常に大きなプラスである。

しかし、これまでのヨーロッパ球界では、日本は大した相手と考えられてはいなかった。だが、この度のタンマジャンの成績によって、ヨーロッパ諸国の日本観は大きく変ってきている筈である。

完全に追う立場にあって、足下に見られていた日本が対等の立場にまで来たこと知ったならば、日本に対する研究は大いに進むことになる。ノーマークとマークされていること、これは大な違いとなる。とくにユーゴスは、明年の世界選手権の予選リーグで顔を合せる当面の相手である。これが今回の敗戦をきっかけにして、日本研究をやらない筈がない。

今回の成績に甘んずることなく、ますます強化につとめないことには、本番で苦い汁を飲むことになる。やればできるといふ自信をもつと同時に斯界一丸となつての精進に努めないと、今回の成績は水の泡になって消えてしまうことになる。(藤本)

## 時評

いよいよ夏の「全日本シーズン」が幕をあげた。これまでは全日本学生が、その皮切りとなっていたが、今年は全国自衛隊選抜大会がトップを飾った。

準備不足などあって4月の未から短期間にまとめた同大会だが、上昇一途の自衛隊チームだけになかなか見応えのある内容であった。

来年以降さらに充実したものとするには、日本協会が積極的にバックアップする姿勢が欲しい。これは、なにもこの大会に限ったことではない。ブロック選手権などにも日本協会はもっと関心を示すべきだ。

本誌に発表されたクラブチームの育成問題についても、多くの意見が日本協会自体の乗り出しを希望している。

トップレベルの頂点強化が現状の最大課題であることは判るが、日本協会の施政が中広い範囲に及ぶことを期待したい。

ところで各全日本選手権のなかで注目したいのは全日本教職員選手権(8月15日~17日、埼玉県上尾市)で初の試みとして敗者トーナメントを行うことだ。

せっかく出て来ても1回の試合で帰途につくのではという参

加チームの意向を聞いて、埼玉協会が全日本教職員連盟と話しあって1回戦の敗者のうちで希望するチームを集め改めてトーナメントを組むものだ。優勝者(?)には埼玉協会理事長杯が贈られるというのもいい話だ。全日本と名がつく以上、勝負の厳しさがすべてといった声も聞かれるが、年1回の集りと考えれば、この企画、賞されてよいと思う。これにならって、全日本学生選手権などで、東京や大阪などに各校が集った場合日程後に、相手を探して「交流」していくこともよいのではないかと、それが全般のレベルアップにつながることは明らかなだ。

特に、中央の水準に一步でも近づこうと努力している地方勢にとっては、全日本大会は武者修業ともいえる。

序盤戦だけで帰郷するものもつたいない話で、出来る限り経験をつむ機会を主催者や主管者が手配してあげてもよいだろう。話はとどろが、去年のオリンピックで予選で負けたある国のサッカーチームが、わざわざメキシコシティまで来ていた。

本大会に出る各国の練習相手となりながら、短時日にいろいろなタイプのチームと対抗する経験をその国はつんだのだ(S)

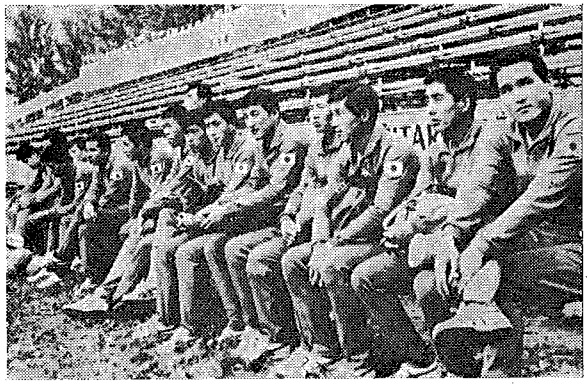
## 「ハンドボール」

8月号(第67号)目次

「ミュンヘンへの道」	(1)
時評	(1)
ヨーロッパ遠征特集	(2)
タスマジャン杯で三位	(2)
ルーマニアで試合	(4)
ハンガリーの試合	(6)
西ドイツの試合	(7)
遠征から帰って	(7)
韓国遠征速報	(8)
世界選手権基金なお検討	(10)
世界女子選手権中止	(11)
全日本総合選手権組み合せ予想	(12)
全日本高校選手権組み合せ予想	(14)
全日本教職員選手権組み合せ予想	(16)
全国自衛隊大会	(17)
クラブチームをめぐる	(18)
ヨーロッパの技術研究③	(22)
ハンドボールの歩み⑭	(24)
新刊紹介「国際ハンドボール」	(25)
高体連20周年を迎え	(26)
全日本高校選手権	(28)
予選記録(下)	(28)
ブロック高校選手権	(31)
各地の記録	(31)
編集後記	(32)
表紙写真II全日本男子欧州転載から。	
全日本ライオンハウゼン	
(西独)戦	
(7月7日・ライオンハウゼン)	







### 3ヶ国で親善試合 (21戦)

タスマジャン・カップ争奪トーナメントへの出場前後、日本チームはルーマニア、ハンガリー、西ドイツで親善試合を行った。先号既報のルーマニア第9戦以後の模様をお伝えしよう。  
 なお、各国での通算成績はルーマニア14戦10勝2敗2分、ハンガリー3戦2勝1敗、西ドイツ4戦2勝1敗1分であった。

#### ルーマニア

▼第10戦 (6月10日・プロイエステ)

全日本	24	(14 10)	19	プロイエステ
得点	0061074001441			アジェン
本	本	本	本	本
田	田	田	田	田
藤	藤	藤	藤	藤
野	野	野	野	野
森	森	森	森	森
井	井	井	井	井
永	永	永	永	永
田	田	田	田	田
野	野	野	野	野
近	近	近	近	近
東	東	東	東	東
木	木	木	木	木
中	中	中	中	中
北	北	北	北	北
有	有	有	有	有
飯	飯	飯	飯	飯
竹	竹	竹	竹	竹
GK				
FP				
7MT	(1)	24		

※相手メンバー不明  
 (評) 日本は一線防禦を布いたためロングシュートに対する詰めが悪く先行される。しかし攻撃では

ネデフ氏から教えられたコンビプレーが随所にみられ、なかなかいい動きを示せた。

19~26分の間に連続4ゲットし前半はそのまま終わるかに思えたが、帰陣の遅さをつかれ、相手の速攻を許したのは拙かった。

デйнаモとホームコートでは常に1点差の接戦を演じるという相手だけに、わずかなスキでもついでくるのは、さすがにトップチームといえる。

後半に入ると、日本は攻守とも動きがよくなり、相手の攻撃を散発におわらせて主導権を握り次第に点差をあけて楽にゲームを進め

た。あまり点が開かなかつたのはサイドからの相手シュートのカットを両足防禦とみなされ7MTを課せられたことが原因といえる。  
 ネデフ氏夫妻がブカレストから来場、日本の動きに満足して帰られた。なお今日からデルマン氏が日本チームに同行して指導してくれることになった。デルマン氏は第4回世界選手権でルーマニアが優勝した時のトレーナー。

#### 終盤に勝負を決める

▼第11戦 (6月11日・ブラショフ球技場)

全日本	23	(13 10)	19	デйнаモ
得点	0031041043443			ブラショフ
本	本	本	本	本
里	里	里	里	里
本	本	本	本	本
野	野	野	野	野
中	中	中	中	中
川	川	川	川	川
井	井	井	井	井
永	永	永	永	永
野	野	野	野	野
藤	藤	藤	藤	藤
田	田	田	田	田
森	森	森	森	森
近	近	近	近	近
東	東	東	東	東
木	木	木	木	木
中	中	中	中	中
北	北	北	北	北
有	有	有	有	有
飯	飯	飯	飯	飯
竹	竹	竹	竹	竹
GK				
FP				
7MT	(1)	23		

▽日本FP東、中井  
 ※相手メンバー不明

(評) ブカレスト市の北西200K。この国第2の都市で人口は24万という。山と山の谷間に開けた街でコートはコンクリート(屋外40×20m)。

女子の試合につづいて午後5時半開始。相手はA(1部)リーグの6位で、チームの要といわれている180cmのGKがこの日は病気欠場。残念だ。

開始早々1点を失ったが、すぐに飯田の中央でのジャンプシュート、野田の右サイドからのプロンジョンシュートが連続決まって4点をあげ、楽に試合が進むかにみえたが、それもつかのま、一進一退となり、いちどは4点差をつけたのだが、僅少差で前半を終った。

後半に入ると相手のフェイントなどの個人技にまどわされて13-13に追いつかれ14-14、15-15と粘られたが、後半20分を過ぎてから日本は再び力をもちかえし勝負のメドをつけた。

後半は特にセット攻撃でのプロックプレーなどを折りこんでみたコンビネーションプレーが再三成功して観衆の拍手をあげた。

昨日のゲームもそうだがファンが実にハンドボールを知っていて、気持ちのよい盛りあがったムードの中で試合が出来た。(勝)

ディフェンスに数々の課題  
 ▼第12戦 (6月14日・シビュ・観衆二千)

全日本	22	(12 12)	19	シビュ
得点	003333320023			選
本	本	本	本	本
田	田	田	田	田
本	本	本	本	本
野	野	野	野	野
田	田	田	田	田
永	永	永	永	永
岡	岡	岡	岡	岡
森	森	森	森	森
野	野	野	野	野
近	近	近	近	近
東	東	東	東	東
木	木	木	木	木
中	中	中	中	中
北	北	北	北	北
有	有	有	有	有
飯	飯	飯	飯	飯
竹	竹	竹	竹	竹
GK				
FP				
7MT	(1)	22		

※相手メンバーは不明

(評) シビュ市はルーマニアのハンドボール発祥地。オールドファンが沢山スタンドに集った。相手は今年からB(2部)リーグ入りするという新結成のチーム。そのためかコンビが悪く、個人技を封じる策戦で、失点は15点まで、シュート(成功)率55~60%という目標をたてて臨んだ。

前半ははじめは互いに相手の出かたを探っていたが5分、変化のあるコンビから飯田がシュートを決めて先行、しかし12分防禦の詰めの甘さから単発シュートを許し3-5とリードされた。

しかし、このあたりから攻撃のリズムがよくなり20分までに5点を連取、8-5と逆転。このまま点差が開いていくかとみえたが相手ポストマンへのマークが弱くシュートの詰め遅さもあって12-12でハーフタイム。後半すぐさま巧い攻撃で3点をリード、ペースは握ったものの、ディフェンスの悪さはなおらず4本の7MTなどで後半も7点を失った。

攻撃面では変化に富んだ無理のないセットオフエンス、速攻は目標のシュート率にまらず(41シュート、0.53)だった。

やはり日本の課題はディフェンスだ。7本の7MT(6失点)をとられた原因も防禦法の悪さ、もろさからで、相手のポイントゲッター、チャナブ(左腕)のキープ

力、フエイント力、ポストへの好配球そして地をはうような強引なシュート力に11点を叩きこまれたのも反省させられる。19失点はなにはともあれ問題だ。早い帰陣、

# ナシヨナル(B)

▼第13戦(6月16日・デйнаモ球技場)

全日本 15 (8-16) 13  
ルーマニア 00541000003000 13

得点者: ア・ナシヨナル B  
ゴールキーパー: ヴラディミール・クワウツク  
ディフェンダー: スキニク、マドトク、ネス、サリビラ、ゴンチミ、リラ、アウブ  
【デネダキドリマバコサコア】

GK: 田田藤森野岡野  
FP: 飯野近木平竹  
得点者: 下飯野近木平竹  
03522210

(評) 前半、長身を利用したキチドのロングシュートで先行され、また大きなステップによるシュートにディフェンスとGKがまどわされゴールを割られるケースが再三あった。しかし日本はポストを固め相手のペースにはまることなく落ち着いて試合を進めた。

攻撃面では、木野がマン・ツウマンにつかれたが、ロング、サイドからゴールを狙って17分には4-4とした。このあと25分まで速

ポストへの激しいマーク、強いフール、シューターに対する詰め課相手に自由を与えぬ動きなどが題である。(村田)

## に2連勝

攻とセットプレーをおりませて5ゴールを決めて優位に立ち2点差をつけて前半を終えた。

後半に入ってから、2点の余裕が日本選手の動きを軽くし、速攻で確実に加点した。ルーマニアは、日本選手の動きにディフェンスが合わないとみるや、しだいにプレーが荒くなり、攻撃も単調・強引なシュートがふえた。

このラフな展開に日本がつりこまれなかったのは、先行していたゆとりもさることながら、外国チームとの試合に対するかけひきが身についたということもできよう。

これは大きな収穫だ。点差の上では後半5分に5点、11分には6点をリードしたのだが、相手の激しい突進に次第に押され、この間2本の7MTを決められ追いこまれた。

後半20分からルーマニアはマンツウ・マンによるオールコートアタックに転じ、必死の反撃をしかけて来たが、日本もよく動き24分28分に得点したのが利いて快勝し

た。ナシヨナルBというのは二軍的な意味ではなく、Aの中の若手とA・B間を往復しているスタッフで日本がこのチームから勝利を得たのは意義があると思う。

ルーマニアもまさか日本に苦杯を喫するとは思っていないかったようであらう、たえず先手をとりたれたる敗戦は衝撃をうけたようだ。

日本選手一人々がプレーに対して厳しさをもちて来たこと、チームとしてのボール・キープ力がついて来たことも勝因の一つだろう。

▼第14戦(6月17日・デйнаモグランド)

全日本 12 (5-15) 11  
ルーマニア 001502220 12

GK: 里田野田永森野藤田  
FP: 竹飯有近木近野  
得点者: 里田野田永森野藤田  
001502220 12

※相手メンバーは不明  
(評) ルーマニアにおける最終戦コート入口には試合の看板が大きくかかげられている。

相手は、前日の思いもかけぬ一敗に、選手はもとより、コーチ陣も斗志をみなぎらせているのがよく判る。

試合開始の1時間前まで豪雨となり、コートの水をはき出すほど

の悪コンディション。日本は前日の一戦で大きな自信を得、しかも悪天候にもかかわらず日本大使、参事官夫妻、在ルーマニアの商社員10人ほどが日の丸の小旗をふつた応援で選手もいつそう力づけた。

試合は予想どおり、立ちあがりから激しいぶつかりあいとなった前半なかつすぎ、日本は4-2と2点差をつけたが、それ以外は常に1点差。文字通りのシーソーゲームを展開した。

ルーマニアの強引なプレーに日本は体力のハンデを乗り越え一歩もあとに引かず対抗。

前日5点を叩き出した野田が徹底的にマークされ、ディフェンスのシフトも2・4・0・6(線)を併用するなど苦心のあとをみせた。しかし日本もディフェンス面でポストマンに対するマーク、ロングシューターに対する詰めなどがようやく身についた感じで健闘し、攻めでは飯田が先制点にはじ

まって要所にポイントをあける活躍を示した。

日本の盛んな意気が終始感じられたのだが、苦しい試合となったのは7本の7MTをとられ、その内5本を決められたことだ。

ディフェンスの足場の悪さをつけて、戦略的に7MTを得るようなプレーを見せたルーマニアの老練さにかきまわされたとはい

えるが、今後研究、反省を要する課題ではある。この結果、日本はナシヨナルBから2勝をあげた。世界の最上位に君臨する同チームに連勝したことは、相手に練習不足のハンデがあったにせよ大きな自信を得ることに結びつくだろう。(勝)

最大の収穫は「自信」  
ルーマニア・ナシヨナルBが日本に2敗したことはルーマニア関係者に大きなショックを与えている。

日本の勝因は2試合とも選手が死にもぐるいであつたことだ。その気力に加えてディフェンスと頭脳(試合展開力)だと思ふ。

しかし、私自身としてはこの2勝を問題にしていけない。一度や二度はこういふこともあるだろうという気持ちだ。この勝利が日本の世界上位突入を約束するほど、世界は甘くないのである。

ある選手が、『デйнаモクスデアウアの試合をみて、あの連中を主力としたルーマニアBに勝てたなんて信じられない。だけど自信がつきました』といっていたのを聞いた。この言葉だけがこのルーマニアでの強化合宿の成果といっ

てよいだろう。この自信をだいたいにしてほしいと思う。(村田)

※本誌では次号から、欧州遠征レポートを連載の予定※

# ハンガリーとは星分ける

## ハンガリー

▼第1戦（遠征第15戦、6月20日  
ブダペスト体育館、観衆二千）

全日本 24 (1014 | 1013) 23

得005142432011

【本】本里野田永岡森野藤田  
【日】福下竹飯有平近木近野  
得0024213741

（評）ハンガリーでの第1戦は同  
国ナショナルチーム。フロア（40  
×20m）が悪く走るたびに音がし  
てやりにくい。

雨天の中、日本大使はじめ二千  
の観衆がスタンドを埋める。  
ハンガリーとは第6回世界選手  
権で顔が合い25-30で敗れている  
が、ルーマニアの最後にナシヨナ  
ルに連勝したことで自信がみなぎ  
っており、今日の一戦にどんな結  
果として現われるか興味があった  
相手の平均年齢24・7才。身長  
186、体重82と若く大きい。メンバ  
ー中、前回の世界選手権出場者は

7名。ルーマニアの特徴であるコ  
ンビの中に個人が強引にプレーす  
るのに対しハンガリーは実に速い  
ローリング戦法で、完全なコンビ  
ネーションプレーを持ち、サイド  
にポスト・マンが居て、逆サイド  
からローリングしながら早い動き  
で、中央でディフェンスを釘づけ  
とし、ロングシュートを射つか、  
それをサイドに廻して、1人を余  
しシュートに結びつけるというオ  
フェンスを見せた。

スピードを待特とし、しかも完  
全にボールを握り、パス、フェイ  
ントが多形であった。

試合そのものはナショナルチー  
ム同士の対戦としては勝負の厳し  
さがみられず、ディフェンスもお  
となしく、互いに失点を多くした  
日本は策戦として、失点を15  
17点におさえること、即ちディフ  
ェンスに徹底し攻めではシュート  
率をよくし20ゴールを目標におい  
た。

一線防禦（0-16）を布き、攻  
撃は速攻では第2段階（フオーロ  
攻撃）の成功、セットではボール  
を長く保持して、変化のある攻め  
から遠目のシュートを狙われた。  
前半、日本は6-4と先行する  
も、そのあと3点を許し逆転され  
た。しかし、すぐ追いつきその後

は一進一退。互いに主導権を握れ  
ず、後半15-16、17-18と2回リ  
ードされたが、それ以外はたえず  
先行することができた。

24分に2点リードしたがダメ押  
しの1点を得られぬうちかえって  
追いこまれ、23-23から29分30秒  
ようやく決勝点をあげて苦しい戦  
いに決着をつけた。

両チームとも攻撃テンポが早い  
ため守りが甘くなり、特に日本は  
相手のスピード豊かなコンビネー  
ションにディフェンスの間隔を拡  
げられてしまいシューターに対す  
る詰めも悪く大量点を奪われた。

攻撃面では、後半わずかにテンポ  
が早まったが、シュート率は69%  
（36本）と目標に達せた。今後こ  
の攻撃目標を安定させながら防禦  
をよくすることが大きなテーマだ  
そのためには、防禦システムを  
相手のオフフェンスによって変化さ  
せる訓練をしなければならぬ。

ハンガリーのプレーの中では左  
腕・カrogが9mラインからバック  
シュートを2本成功させたのはま  
ことに鮮やかであった。（村田）

ハンガリーの雪じよく許す  
▼第2戦（遠征第16戦、6月21日  
ブダペスト球技場）  
ハンガリー 31 (1813 | 128) 20 全日本  
ヨナルシ 31 (1813 | 128) 20 全日本  
（評）コートはアスファルト製。  
どうも苦手だ。

相手は昨日の雪じよくの意気が  
ありありとみられ、日本も連勝を  
狙って気力充分。

シュートのカットをうまく結び  
つけて先行、ハンガリーは強引に  
攻めこんで来るがよく防いで3-  
0と立ちあがり有利。

前半15分を過ぎたところで雨が  
降り出し、日本の動きもこのあた  
りからしめり勝ち。20分以後はハ  
ンガリーに一方的に攻めこまれ主  
導を奪われた。

コートが滑るためディフェンス  
が大きく広がられ、ワン・クロス  
でシュートされたり、攻撃面でも  
凡ミスが続き、そのスキに7点を  
失ってしまった。

後半になって、雨がやんたが前  
半の失点が重くのしかかり、攻め  
こんでもすぐに相手の反撃を許し  
て点差はちぢまらず、20分すぎメ  
ンバーを大きく変え、よく走って  
追いかけたものの、調子にのるハ  
ンガリーからベースをもぎとれず  
大差をつけられた。

出足はよかったのだが、セット  
の時に何か動きが悪い。しかもい  
ちどストーリーングをとられたため  
無理なシュートが目立ち、雨のた  
めか立つたままのパスやディフェ  
ンスの小さなミスが重なったのは反  
省させられる。前半20分からの10  
分間に7ゴールを奪われ、この間  
無得点だったのも一考を要そう。  
ハンガリー選手の体格は身長が

最低170、最高186。体重が72-96K  
で体格差をまざませみせつけられ  
た場面もあった。こうした経験を  
活かして今後の前進へ結びつけた  
い。（竹野）

### 前半のリード活かす

▼第3戦（遠征第17戦、6月23日  
コムロ球技場、観衆千五百）  
全日本 30 (1317 | 1413) 27

（評）ペーチからバスで30分。ユ  
ーゴとの国境近い町。20年前に鉦  
山労働者によって開けたといわれ  
日本選手を追って子供たちがサイ  
ンをしきりにとせがむ。

コムロの先制点で始まったが、  
日本も速攻から野田、ポストから  
近森が押しこんで2-1。しかし  
コムロがよく粘り、苦しい試合経  
過になる。ルーマニアとも異った  
タイプのハンガリーの早いボール  
ばなれにディフェンスがとまどい  
勝ちなのが一因だ。2-4ディフ  
ェンスを布いたが効果はあまりな  
く、相手のすばい動きに失点し  
たが11-11から北井の7MTでよ  
うやく先行、早川の独走などあり  
4点差で後半を迎えた。  
このリードに後半は余裕ができ  
17名をフル出場させたりオールコ  
ートアタックも試みた。ルーマニ  
アからハンガリーへ移ってディフ  
ェンスに迷いがのぞかれるのはき  
がかりだ。（勝）

# ナショナルと好試合展開

## 西ドイツ

▼第1戦(遠征第22戦、7月4日・ハスロフ)

全日本 18 (9-9) 18

得0 0 1 2 0 0 4 3 3 0 1 1

本 田里上田井岡森野田井川

【本下井飯北平近木野中早

GK FP

▼日本GK福本(得0) F P 竹野

(得1) 藤中(得2)

※相手メンバー不明

▼第2戦(遠征第23戦、7月7日・ラインハウゼン)

全日本 27 (18-12) 24

得0 0 0 4 3 1 2 1 1 4 3 7

本 田本野中田森野井川 井上

【本福竹藤飯近木中早 北井

GK FP

※相手メンバー不明

▼日本GK下里(得0)、F P 野田(得1)、平岡(得0)

▼第3戦(遠征第24戦、7月9日・キール体育館・観衆五千五百)

西ドイツ 24 (14-10) 16

全日本

コンピネーションプレーで健斗、前半は、速攻こそ出なかったが

得0 0 0 2 3 3 5 0 1 2 0 0  
本 田野田岡森野 中藤上田  
【福本竹飯平近木 藤近井野

GK FP

イ ドフ

ド トラドラ

ド デイブル

【西一オ・エ

得0 0 4 3 1 1 6 0 1 5 0 3

(評) 各地における日本の活躍が

関心を呼んでシーズンはずれと

ては異例の大観衆がスタン(七

千人収容)を埋めた。

ドイツの各選手は、11人制シ

ズンの最中とあって豪放な投力と

走力を駆使したプレーを展開、特

に「世界最高の選手」といわれる

ルプキングのプレーは「巧い、す

ばらしい」というより「おそろし

い」と形容すべきであった。彼は

ハンドボールのあらゆる要素をす

べて備えているのだ。

こうした相手に日本は得点目標

20点とし、相手の1・5防禦に対

シシングルポストから素早くダブ

ルポストに変化する攻撃を試み、

守りの面ではルプキングの徹底マ

先行されながらも1点差に再度つ

めよったが、ここぞという時にル

プキングの強引なシュートを喫し

て追いつけなかった。

後半、体力的なへばりが著しく

速攻してもフォロワーがなく、そ

のスキをつけて差を拡げられてし

まった。速攻が決まっていれば1

2点差に留め得ただろう。

ドイツのヴィック・トレーナー

は「2年前に見た時より45度での

攻防の力がついたこととGKの進

歩」を賞してくれた。我々として

も点差ほど実力の開きはないと思

う。それにしてもルプキングはす

ごい。特に前半終了2秒前、GK

からのパスをハーフラインで受け

そこからステップシュート。GK

は判っていないが矢のごとく速い

そのシュートにゴールを割られ

た。

この快技に敵味方それに五千の

ファンはあっけにとられてしまっ

た。西ドイツのハンドボールは実

にリズムカルで「教科書」といっ

てもよい。学ぶべきものが多い試

▽日本F P 早川(得0)、野田(得0)

※相手メンバーは不明

(評) 遠征の最終コースに入っ

てさすがに疲れが目立ち、しかも西

独の4試合はかなりの強行日程だ

ハスロックでは地元協会のきも入

りで、全員が一人々々になっての

民宿、勝手のちがう生活にとまど

った。そのせいでもあるまいが試

合も厳しいプレーがなく点のとり

あいを演じた未、引き分けに終っ

た。

第2戦はルーマニアナショナル

の主力ナトが留学中とかで相手チ

ームに加わりシャープなプレーを

見せた。日本は前半のリードに余

裕を持ち制勝した。

第4戦は今回の遠征最終戦。勝

利でしめくくろうという気が焦り

になってシュートミスが多く拙い

試合ぶりだった。

後半ようやくディフェンスが立

ち直り、攻撃面でもチャンスを選

び逃げ切った (勝)

### 全日本、元気に帰国

来春の第7回世界男子7人制

選手権で上位入賞を果たすため

5月14日からルーマニアでおよ

そ1ヶ月半の強化合宿を行いそ

のあとハンガリー、ユーゴ、西

ドイツ各国を転戦していた全日

本男子ナショナルチーム村田弘

監督ら一行20人は7月14日午後

4時10分羽田着のフランス航空

機で元気に帰国した。

滞欧中の試合成績は25戦14勝

6敗5引分で、このうちナシヨ

ナルチームとの対戦成績は9戦

4勝4敗1引分であった。村田

監督・勝・竹野両コーチは今回

の遠征の成果を次のように話し

てくれた。

いちばんの収穫は精神的には外

国選手に対するコンプレックスが

なくなり、ヨーロッパとの差はそ

う遠く大きくはなれたものではな

いという自信を選手たちが持った

こと、実際面ではユーゴに勝った

こととナショナルチームと五分の

成績を残したことだろう。ユーゴ

戦は全員の気力がすばらしく盛り

上がり、国際試合は精神力の闘い

であるということを経験し得たの

が大きい。ディフェンス力もあ

り外国チームの動きが読めるよう

になったのも進歩だ。

しかし課題がまったくなくなっ

たわけではない。特に終盤に追いつ

つかれる体力の不安は大きなテ

マとなる。わずかなスキから引

き分けたり負けたりした試合が多

かったのもその面が原因している





**フジカラー**  
サービス

カラー写真ならもっときれい!



現像とカラープリントはお近くのカメラ店で  
〈フジカラーサービス〉とご指定ください

**フジカラーの純正現像**

フジカラー N100

フジカラー R100

フジカラーシネ 8mm・16mm

トーキー映画(磁性体塗布加工)

フジマグネオストライプ

小型映画フィルムの複製

フジシネコピー

**美しいカラープリント**

フジネガカラープリント

フジポジカラープリント

フジダイカラープリント

フジ G カラープリント

フジネガカラーズライド

フジポジカラーズライド

**フジカラーの総合現像所**

株式会社 **フジカラーサービス**

札幌・仙台・東京・名古屋・大阪・広島・福岡

# 世界選手権基金運動はなお検討

## — 国体後に正式決定か —

日本協会がかねて検討を重ねていた「世界選手権基金運動」は本誌前号既報の通り、全国許議員・理事に郵便投票を求めていたが、メ切までによせられたのは三十一票であった。

支持する投票も三分の二近くあったが、原則的にはこの構想に賛同しながらも、実施上の種々の問題には多くの意見がよせられ、必ずしも全会一致の賛同を得られなかった。運動の性質上、全国の球界の賛同が得られないとその施行にすこぶる困難が予想されるので7月10日の定例常務理事会の席上では、会長をはじめとする合議スタッフが各地の声を聞いた結果をも勘案し、なおこの趣旨をよく広く球界に浸透させることが必要であるし、また規定の細部にわたって、事務の簡素化を図れるよう再検討し、球界内の意志を一つのものにまとめあげていくことになった。

この基金のような重要な問題はやはり、全国から臨時評議員会・理事会を開催し、充分な討論をつくしてから決めるべきだとの意見もあり、こういう意見を総合し、

この運動に対する理解を深めるように、決定はしばらく延期し、10月の長崎国体時に開かれる予定の臨時評議員会・理事会に改めて、今回の投票による意見を含めた修正案を提出することになった。

田村会長は「充分に趣旨を球界に理解してもらった上で、事務的に負担にならない方法で、この運動を推進したい。時期的に多少遅れても、ぜひとも球界をあげて、この運動を成功させたいものだ」といっている。

またそれとともに、積極的な資金集めの手も具体的に検討することになった。外国チームを招くことを中心に、各地で好試合を開催し、入場料収入を中心にして、積極的に資金集めを行なうとともに普及・強化に努めようというのが基本的な考え方である。

種々の問題もあるが、全国が一丸となって、協会創立以来三十年の懸案である財源問題に積極的にとりくまねばなるまい。

財源がないということでも多くの施策がそのままにされているものが多い。ある財源を各部門でゆずりあって使うのでなく、必要な財

源はなんとかそれを集めるという方向に考え方を向けていかななくてはいつまでたってもこの現状を打破することはできない。

全国に数万人いるハンドボール

### 評議員・理事の主な意見

「趣旨には賛成するが実施面で問題が多い」とする評議員・理事側の意見によって「募金委規程」の施行は、しばらく見送りのかたちとなったが、投票と同時に寄せられた主な意見を拾い出してみよう。

実施面での問題点として指摘されたのは「徴収し送金する繁雑な事務処理」への疑問だ。高校・一般・評議員・賛助者の4段階に分け年額とすべきだというような手数を省く方法も提案された。

こうした大課題を検討するのに郵便投票で賛否を求めたことに対する批判もあり、常務理事会（合議スタッフ）が一応賛成票を多数得ながらも秋まで決議を延期し再検討の線を打ち出したのはこの2

関係者一人一人が自分自身の問題として、この財源問題をうけとめ、それぞれのできるところで、どのようにして、これを解決していく方法を考え、実行に移してほしいものだ。

あなたまかせにしていたのではいつまでたっても、チチのあく問題ではない。

全員でこの課題にとりくもうではないか。

点に起因しているとみられよう。

このほか「年次の途中であり実施するならば来年度からに」、「対象の大会をブロック大会以上に」、「ナショナルチームの巡回などで別の募金法を考えよ」といった意見も多く、「代表選手を生んだ都道府県を中心の募金」という新提案もあった。また「これ以上地方組織やプレイヤーに経済的な負担をかけるな」という声も予想以上に多い。

なお、日本協会では賛否（投票）を評議員51名（定数）、常務理事30名（河内鋭雄氏辞表提出による欠員1名）から求めたがメ切日の6月30日までに返信が送られたのは31名。いかに未投票の場合には賛成とみなすという一条があったにせよ定員の半数に満たなかったのは肯げない。

技術部から全日本教職員選手権の時に「全国中学校指導者講習会」（教職員連盟と技術部共催予定）を文部省に申請し、共催が得られれば実施する意向が示された。

### 月例常務理事会議事録

6月13日（抜すい）

一、欧州遠征チームの中間報告・山田理事出席の国際審判講習会の日程などが報告された。

一、財務部から、今年度は種々の財源を合せても、また基金が順調にいったとしても赤字が予測されるとの報告があった。また旅費規定は財政状態が見通しつかないので、しばらく保留することとしたいとのことで承認された。

一、高専と大学院生の登録と出場資格について、

インターハイと国体は3年生以下（19才未満の年齢制限により）左記条件内ならば国体の高校選抜に加えること可

4・5年生は短大と同様大学に含める。大学院の件は保留とする。高専連盟（準備中）との問題もあり、高体連とも協議する。

この他、日体大の遠征関係、全日本学連の理事長が安藤純光氏の辞任にともない、田中秀夫氏が理事長に就任する。自衛隊の全国大会に関してなどの報告が行なわれた。

技術部から全日本教職員選手権の時に「全国中学校指導者講習会」（教職員連盟と技術部共催予定）を文部省に申請し、共催が得られれば実施する意向が示された。





高校チーム、B組に日女体大(東京)、D組に大阪体大(大阪)の二大学チームが出場するが、いずれも強豪にはさまれて苦しい。これらチームの健闘を期待したい。

### 【藤本 強】

#### 攻撃力のいい日体大

(男子) 本来なら大崎電気(埼玉)を優勝候補の一番手にあげるところだが、日本協会の規定で近森、飯田、東、平岡、近藤、井上、竹野、G K下里、福本ら全日本A(ルーミア遠征メンバー)に選ばれているレギュラー9人が出場できず、今年も学生勢を中心とした争覇戦になる。

なかでも日体大、中央大、芝浦工大(いずれも東京)の関東勢と関西大(大阪)それに全立教、全教大(ともに東京)の6チームは有力視される。日体大を推す声は特に強い。

G K本田と藤中を全日本に送っているが井上、谷藤、斎藤らの全日本強化選手(全日本B)を軸に水海、松原、笠原らの攻撃力は強さと巧さを持っている。日体系の手からこの大会のタイトルがはなれて11年にもなり、ぜひとも今年優勝を飾りたいところだ。不安は韓国遠征(7月20日帰国)による疲れだけといってもよい。

2連勝を狙う全立教は現役勢で出場。優勝メンバーから木野、野

田(ともに全日本A)、北村、G K川口(ともに全日本B)らが抜けたうえエース有永(全日本A)も欠ける。しかし小野口(全日本B)、加藤、戸田、倉前、古谷ら巧者の粘りのある攻守は定評があり、タイトルを守ろうという意気も手伝って、トップチームにふさわしい試合をみせるだろう。

中央大と芝浦工大は選手の粒が揃い優勝を望める実力を持つ。

中央大は植木(全日本B)、喜田、佐藤要、佐藤光、花輪らの攻撃力がいい。芝浦工大も高嶽をリードマンに森、新実、明石の全日本トリオをそれに木全、大江ら若さにあふれている。オフエンスの力は高いが守りのもろさが気がかり。中央大は順当なら準々決勝で全教大(東京)、芝浦工大は2回戦で中京大(愛知)と顔を合はせる

がここがひとつの難関。

全教大はG K上野、浅野、斎藤梁川ら現役勢に大西、小山、稲垣らの若手OBが加わりスケールの大きい布陣。2回戦の大崎電気は西村(全日本B)、旗野、太田らの留守軍だけに、やはり中央大戦が問題だろう。

中京大はテクニシャン鈴木、吉田らスピードなフォーメーションプレーに特色がある。

韓国遠征選考大会で日体大と互角に試合を進めた関西大はセットからの変化攻撃が多彩で馬着をリ

1ダーに許、松田、西脇、宮松らが持ち味を発揮すればダークホースとなる。1回戦三景(東京)2回戦日体大というクジ運だけにいっそうそれがいえる。

学生への対抗勢力のなかでは大阪イーグルス(大阪)、常盤工業(岐阜)、岩手教員(岩手)、住友化学(愛媛)、富士製鉄(愛知)それに三景(東京)らが買える。なかでも大阪イーグルスは福井(全日本B)、榎塚、東、松尾、青木、G K島崎で試合運びの巧さは伝統的、同じグループの全立教にとっても無気味な存在だろう

実業団の各チームはそれぞれ個性がある。

東海ナンバー・ワンの座を不動のものにしている常盤工業は山田高橋、G K渡辺ら、住友化学菊本は加藤(全日本B)をエースに白石、G K季原らをそれぞれ攻守の中心にもっている。

三景は江名、G K尾形(ともに全日本B)榎、内藤、高梨と有力選手によってスキがなく関大戦は1回戦屈指の好カード。

地元の期待をになう岩手教員は高田、増田を主力に岩手大の若手OBで固めており、常盤工業戦をどう戦うかが上位進出のポイント。

このほかのチームでは法政大(東京)、同志社大(京都)、日進商會(神奈川)、大阪経大(大阪)、明

治大(東京)、宗形製作所(大阪)、長崎教員(長崎)らが一発の力を秘めており特に法政大、同志社大明治大は調子の波をつかめば大きく勝ち進みそう。宗形は第1戦に全立教を抜きあて斗志を燃やしている。

進境を伝えられる日新製鋼(広島)と松山商大(愛媛)はともに緒戦がカギ。苦しい条件をぬつて出場のクラブは全国学院栃木(栃木)、水見ク(富山)、奈良ク(奈良)、盛岡商友会(岩手)、坂出常盤ク(香川)の5チームにすぎぬが健闘を期待したい。

ところでこの大会には全日本A(ルーミア遠征メンバー)にリストアップされた17選手は参加できないことになっている。

そのため前述のように大崎電気チーム力はBクラスに落ち、日体大のG K本田、藤中、全立教の有永、同志社大の中井らも出ない

そればかりか木野、早川らのワクナガ薬品(大阪)、野田を加えた大同製鋼(愛知)らは予選の段階で出場をあきらめ、北井の卒いる埼玉教員ク(埼玉)は教職員連盟の推せんを辞退してしまった。

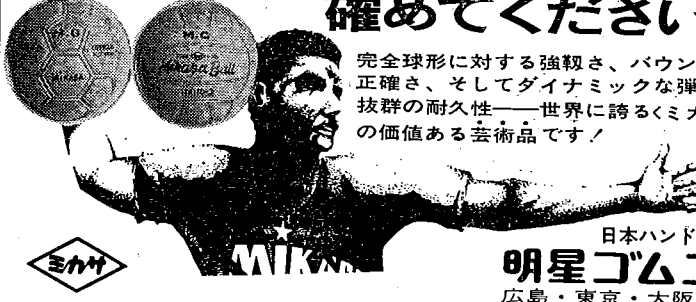
ヨーロッパ遠征ですっかりたくましさと巧さを増したと伝えられる代表選手のプレーを見られないのはいかにも残念である。

【杉山 茂】

確めてください! **Mikasa** ★

**HAND BALL**

完全球形に対する強靱さ、バウンドの正確さ、そしてダイナミックな弾性と抜群の耐久性——世界に誇る「ミカサ」の価値ある芸術品です!



日本ハンドボール協会検定球

**明星ゴム工業株式会社**

広島・東京・大阪・福岡

全日本高校選手権 (8月2日) 展望 (7日・富岡)

# 下関中央工(優勝)めぐる争いか 男子

## 女子は実力伯仲の激戦必至

炎天下に展開される高校球児の激突——第20回全日本高校選手権(インターハイスクール)は8月2日から7日までの6日間群馬県富岡市の富岡高、富岡西小学校の両球技場に全国各都道府県千余校によるけわしい予選を勝ち抜いた男子52校、女子50校が参加トーナメントで行われる。

今年には高体連が発足して20年目の『記念大会』。年々いちぢるしいレベルアップの跡をみせており、特にミュンヘンオリンピック実施の報はいやがうえにも若いプレイヤーを刺激している。

注目の組み合せ抽せんは7月5日富岡市で行われ別表のようになったが、大会審判長嶋田新太郎氏からの資料と各地で集めた情報をもとに展望を試みてみよう。(編集部)

**男子**  
20周年大会を飾るにふさわしく過去の優勝校のうち桐生工(群馬)、清水商(静岡)中央(旧中京商、愛知)、下関中央工(山口)の4校が元氣な姿を見せているなかで、名門・桜台高(愛知)と明星高(東京)の名が消えているのはさびしい。

20年前、31都道府県の参加でスタートした本大会も沖繩をふくめた47都道府県(注・青森、鳥取は男子のみ)佐賀は女子のみ)の代表が揃い、しかも各県の予選は年ごとに激しき、きびさを増し、一次、二次、三次を経て決勝大会を行うような激戦区も増えた。

力は伯仲しておりわずかな運不運が勝負を左右するような試合がこの数年目立っている。組み合せにしたがい8つのパートに分けてベスト8への有力候補をまず探り出してみよう。

**連ばに意気こむ下関中央工**  
Aパートではやはり前年優勝の下関中央工が焦点だ。優勝メンバーから5人を卒業させたがGK山徳、酒井、古谷、鬼村、西島、西村らが健在。優勝—韓国遠征ですっかりたくましさを加えたいうえ、試合運びの巧さにいつそうみがきがかかっている。5月の中国高校でも危気なく優勝を飾っており、『昨年以上のチーム力』という声

も聞かれる。しかし博多工(福岡)、添上(奈良)、相模台工(神奈川)らの粘りある攻守は油断がならない。連ばに意気こむ下関中央工と強敵打倒に気力をみなぎらせ各校の対戦は、はじめから火花が散りそうである。

拾頭いちぢるしい羽水(福井)と鶴崎工(大分)国学院栃木、伝統の天城(岡山)らダークホースが集った。各試合ともまったく予断を許さぬが、豊橋商—新居浜工の勝者が進出とみせたい。

**白熱する中大附—清水商**  
逆のブロックに目を転じよう。Eパートは強豪がぶつかりあう。北信越1位の小杉(富山)、名門麻生(茨城)、中京(愛知)、それに初出場・マリスト学園(熊本)の存在も無気味である。

いづれも最上位を望むに足る力を備えており、この4校から三本松(香川)、新宮(和歌山)の力も軽視できない。

Fパートは岐山(岐阜)—洛星(京都)の勝者と下松工(山口)桐生工(群馬)がリードしているようだ。南会津(福島)も元氣。

Gパートは初出場校が多いが、東大附属坂戸(埼玉)と堺工(大阪)のせりあいになりそう。急速に力をつけている沖繩代表・那覇商の健斗も大いに期待される。

Hパートは、前年の準優勝校・中大附属(東京)をはじめ三原工(広島)、盛岡一(岩手)、清水商

(静岡)がひしめく。なかでも東海で技群の力価を示した清水商の試合ぶりは注目される。順当ならば3回戦は中大附属と対決しよう。この一戦は優勝争いにも大きく影響してくる試合だ。

さてベスト8はどうなるだろう波乱必至の大会だけにこの予想は極めて難しいが、下関中央工、塩山商、新居浜工または豊橋商、富岡または神代、麻生、洛星、堺工清水商または中大附属とみたい。このなかから抜け出て栄光を得るものを占うのはさらに至難だ。

高校選手権は、実力、だけで絵が決まるといえるものではない。前述の運不運やコンディションニングもそうだし、大会後半に調子の波にのれるかどうかも一つのポイントだ。

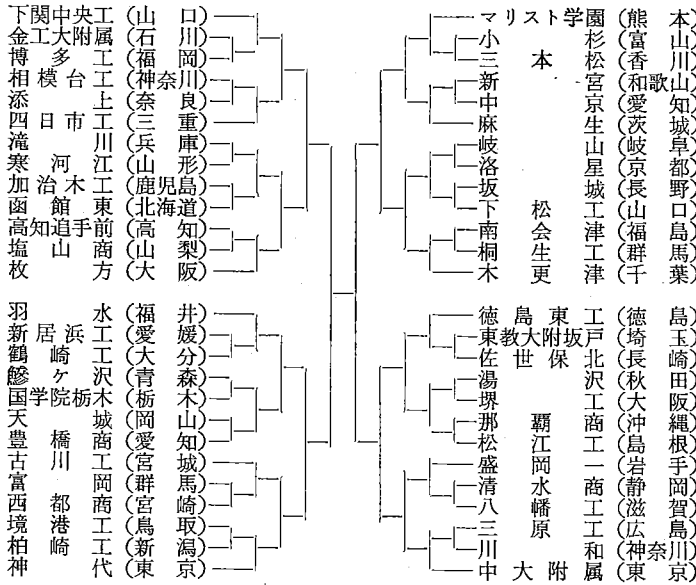
強いて優勝最短距離にあるものを選べば、連続制はの夢に燃える下関中央工、地元期待を一身にうける富岡、2度目の優勝を狙う清水商、宿願に2年つづけて挑む中大附属となるのではなからうか

### 入り乱れる強豪、新鋭

**女子**  
古豪、新鋭いり乱れており前年の菊池農(熊本)のようにとび抜けた存在が居ないだけに大混戦の様相を呈そう。

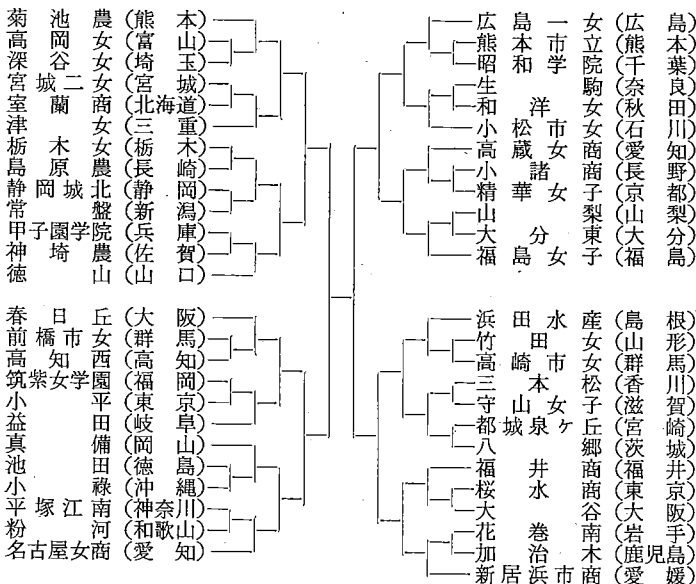
女子の勢力地図も20年間に大きく塗り替えられ、かつての優勝校で今年姿を見せているのは菊池農

○…………男子…………○



※優勝校は8月19日東京(駒沢)で韓国代表校と対戦の予定

○…………女子…………○



熊本市立、静岡城北、栃木女、秋和田洋女、花巻南の6校。塚山、青陵の岡山2強をはじめ福沢、半田の愛知勢、寝屋川(大阪)、明善(福岡)、水海道一(茨城)らが予選で敗退している。初出場は4校。前年、超高校級の名を欲しいままにし、全日本選抜(12月)で学生1位の日体大まで降した菊池農は優勝メンバーが全員卒業してしまい、荒木監督も転任。連続優勝へ斗志を燃やしているものかな。

り苦しい試合を強いられそうだ。菊池農をふくんだAパートでは室蘭商(北海道)―宮城二女(宮城)の勝者が進みそうだ。高岡女(富山)―深谷女(埼玉)の勝者が菊池農とどのような試合をみせるかも興味深い。

Bパートは栃木女―島原農(長崎)という好カードをはじめ静岡城北、徳山(山口)、甲子園学院(兵庫)など有力校が揃っている。Cパートは名門と新進の多い今年。

大会のなかでも、もつともその色強い組だ。前橋市女(群馬)が地元のリをどこまで活かすか注目されるが、緒戦の相手は高知西(高知)前年のメンバーがほとんど残っており春日丘(大阪)も試合巧者。小平(東京)も洗れんされた攻守を誇り益田(岐阜)、筑紫女(福岡)は上り坂の好チーム。接戦が連続しよう。

Dパートは中国1位・真備(岡山)と東海1位・名古屋女商(愛知)の激突ともに秀れた攻撃力をもつ。小祿(沖縄)の進境も話題となるだろう。

Eパートはダークホースが集結している。山陽女を降して代表となった広島一女を筆頭に北信越1位の小松市女(石川)、2度目の優勝を狙う秋田和洋女。熊本市立―昭和学院(千葉)も注目の一戦で、昭和学院は5月に高校界最高ともいえる57点をマーク、好調だ

Fパートは高蔵女商(愛知)が一応有利とみられるが、精華女(京都)もバランスのとれた攻守を持ち、小諸商(長野)大分東(大分)がこれにつづこう。

Gパートも実力が接近している。高崎市女(群馬)と八郷(茨城)の関東勢が一步リードしている感じだが三本松(香川)、浜田水産(島根)、竹田女(山形)も力を伸ばして来ている。

Hパートには優勝候補といわれる新居浜市商(愛媛)がいる。新居浜商は前年の準優勝校で、しかも卒業したのは3人。春以来の試合ぶりも安定している。しかし花巻南(岩手)、大谷(大阪)らの力は侮れず自信のスキをつかれぬとは限らない。

ベストエイトは順当ならば菊池農または室蘭商、徳山、筑紫女学園真備または名古屋女商。広島一女または昭和学院高蔵女、八郷新居浜市商あたりになるのではないがこのうちベストフォーで競うのは菊池農―真備、昭和学院―新居浜市商か。ダークホースとして室蘭商、名古屋女商、広島一女の三校をあげたい。

山田理事帰国

7月7日からマドリッドで開かれていた第16回IHF審判講習会に出席していた日本協会・山田計理事は7月19日帰国した。



# 埼玉、大阪イグルスを追う東京教員ク

## 沖縄も全日本教職員選手権展望

第12回全日本教職員選手権は8月15日から17日までの3日間埼玉県・上尾市体育館に28チームという多数が参加してトーナメントで行われる。沖縄教員の初出場など話題の多い大会となりそうだ。

優勝を争う実力があるとみられるのは埼玉（前年優勝）、東京、岐阜、長崎、岩手、大阪イグルスあたりだろう。順当ならばこのうち長崎―岩手は2回戦、埼玉―東京は準々決勝でぶつかる。

2連勝を狙う埼玉は高田、松田結城の攻撃トリオとGK高橋の堅守は定評があり、新加入の川澄もいいプレーをみせているのだがエース北井をナショナルチームに抜かれ、多勢が退部（留学）したため持ち駒不足だ。

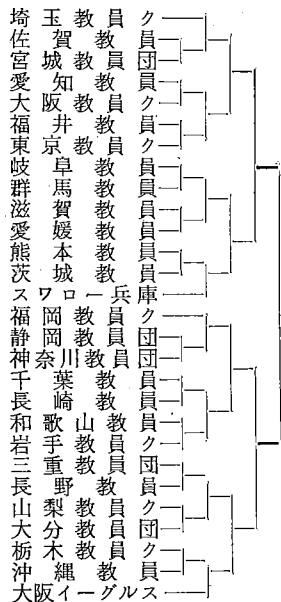
高野、山口、渡辺、大西、GK綿貫（全日本B）といった精鋭を集めて新発足の東京が張り切っているだけに苦しい。この一戦を乗り切れば一気に優勝をねらう。

果たすこともできる。東京にもそまることだ。

対抗とみられる大阪イグルスは、福井（全日本B）を軸に椋家、松尾、東青木、GK島崎らで相変らず巧妙な試合運びをみせている。

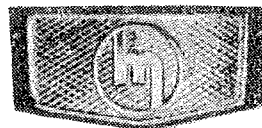
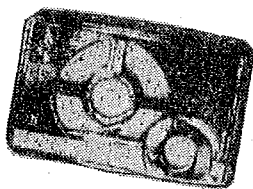
長崎、岩手はともに国体を控えて強化につとめており、その試合ぶりが注目されよう。長崎は大宮黒川の巧技が主戦力。岩手は増田の攻撃力を中心にまとまっている。岐阜、福井の力も侮れない。特に福井は去年の活躍で自信をつけており小山内、坂野らで波乱を呼ぶ可能性は充分ある。

このほか愛知、熊本、スワロー兵庫、福岡、静岡、大分らが安定した攻守を持ち上位進出を狙っている。遠来の沖縄も強化合宿などを行い意欲的だけに健斗が期待されよう。なお、初の試みとして1回戦の敗者のなかから希望チームによって「敗者トーナメント（埼玉協合理事長杯争奪）」が行われる。（杉山）



プラスチックの総合メーカー

メッキは金属だけでは……  
……ありません!



精密金型設計・製作

マイクロプラスチック成型

プラスチックメッキ

### 株式会社 宗形製作所

本社 大阪府高槻市辻子241番地 TEL 高槻 (0726) 75-5551  
 東北本社 福島県福島市清水町字中谷地48番地 TEL 福島 (02452) 3-2812・2911  
 宗形工業化学株式会社 大阪府高槻市辻子252番地の1 TEL 高槻 (0726) 75-5767-8  
 京都金型製作株式会社 京都市南区上鳥羽花名町19番地 TEL 京都 (075) 68-9701

# 勝田施設学校、「海上」勢降し優勝

## 初の全自衛隊選抜大会開く

その成果が注目された第1回全自衛隊選抜大会は7月11日午前9時から東京・駒沢第二球技場に12チーム(棄権1)が参加して開かれた。

競技は1回戦から決勝まで1日で消化する強行日程だったが、各試合とも、自衛隊におけるハンドボール熱を反映して内容の高い展開を示した。

ベスト・フオアには、3年前から全国大会を開き意欲的な活動をつづけている海上自衛隊関係3チームと、球歴を誇る勝田施設学校(茨城)が勝ち残り、決勝は勝田―鹿屋第一航空群・教育航空群混成(鹿児島)が対戦。攻守に一日の長ある勝田が、後半鹿屋の反撃をかかわして快勝、初のチャンピオンチームとなった。

▽1回戦(3試合)  
大村航空 26 (1214 | 45) 9  
隊(海上) (長崎) 航空(茨城)  
朝霞体育 22 (1111 | 76) 13  
学校(埼) 補給処(宮)  
横須賀通 不戦勝  
信学校(神) 小月航空  
陸上(神) 海上

▽準々決勝  
勝田施設 16 (8 | 8) 14 大村航空  
学校(陸) 8 | 8  
上(茨城) 隊  
下総第四 27 (1314 | 106) 16 船岡建設  
海上(千) 航空(陸)  
宇都宮教 22 (1210 | 65) 11 朝霞体育  
空郡(海) 上(栃木) 学校  
鹿屋第一 20 (119 | 77) 14 横須賀通  
航空群混 教室群混  
成(海上) 鹿屋第一  
成(鹿児島) 鹿屋第一

得0032140011200	得000003544211200	得00201010   4   2   6	得00201010   4   2   6
井森本浦川石須塚坂島木村	勝田 島田山永部山田高松原野下	鹿屋第一 航空群混	航空群混
4 2   3 9   5	4 2   3 9   5	20 (1010   4   2   6)	20 (1010   4   2   6)
14 航空群	14 航空群	6 空群	6 空群
18 (6)	7 MT (2) 14	18 (6)	7 MT (2) 14

▽3位決定戦  
宇都宮教 19 (811 | 2) 4 下総第四  
空群 (8 | 2) 4 航空群  
▽決勝  
勝田施設 15 (7 | 8) 11 鹿屋第一  
学校 航空群混  
成  
○……勝田のスタートは快調で11分までに5-0とリードした。鹿屋にも得点機はあったのだがシュートミスが多く結局は、この序盤の好不調が勝負につながった。後半、鹿屋はようやくシュートが決まり出し25分には10-13まで追いつめ興味をもたせたが、勝りて、若崎技術部長、田中実連理事長をはじめ日本協会役員も、そのレベルを「予想以上に高い」と賞していた。  
▽……開催に骨を折った富永勅一尉(勝田・日本実連理事)は「自衛隊で行っているチームスポーツのなかでいちばん水準が高いのは、若崎技術部長、田中実連理事長をはじめ日本協会役員も、そのレベルを「予想以上に高い」と賞していた。」と話す。  
▽……悩みもある。指導者の不足はなかでも深刻だ。現在リーダー格となっている人で中央に名を知られているのは西山、富永氏のほか森岡薫、長野農夫男、宮下忠憲氏ぐらいのもの。西山氏は「防衛大の卒業生がこの大会を機に活動してくるようになれば……」と期待している。  
自衛隊関係者の夢は、全日本総合・実業団や国体での上位進出と全自衛隊選抜を編成して全日本選抜に出場できるようにすることだ。1回戦から決勝まで一気に消化して疲れもみせぬ各選手の体力と敢闘精神に技術がプラスされたらこの夢は必ず実現するだろう(S)

### 夢でない大発展

田は27、28分に連続ゴール、勝利を不動にした。敗れたとはいえない日まで海上の全国大会(宇都宮)に出場、この日も3連戦しながら後半猛迫した鹿屋の気力は賞してあまりある。

田は27、28分に連続ゴール、勝利を不動にした。敗れたとはいえない日まで海上の全国大会(宇都宮)に出場、この日も3連戦しながら後半猛迫した鹿屋の気力は賞してあまりある。

# クラブチームをめぐる諸問題

本誌が全国の読者から公募した第1回紙上討論・クラブチームをいかに育成するかは7月10日のメ切り日までに7通(ほか3氏から特別寄稿)の貴重な御意見が寄せられました。

日本ハンドボール界を支える底辺としてのクラブチームに、多くの方が関心を寄せられていることが判り、今回の提言が日本協会の施政に反映されることを大いに期待したいと思えます。なお第2回紙上討論のテーマは追ってお知らせいたします。

## 各都道府県協会がクラブの運営を

……植田修司

クラブチームが育たないのは、その周辺に、現状ではあまりにも問題が多いからだろう。

グラウンド(練習及び試合場)、運営費、人集め等々チーム運営の基本的な点ばかりである。

こうした課題に解決策を得られないかぎり、クラブはますますOBやOGの同窓サロンになってしまふだろう。例えば、関東のある大学のOBクラブは、最近ではハンドボールで集るよりも、ゴルフで集ることの方が多くなりつつあるという。

かといって、OBやOGがハンドボールに現役時代のような情熱をまったく無くしてしまったというかといえはそうではない。むしろ「ハンドボールをつづけたいのだが会社にチームがない」とか「

誰でも入れるクラブはできないものか」といった声は多いのである

特に後者は、ハンドボールに限らず日本のスポーツ界の共通テーマなのだが、成果があがっていない。

私は、この問題に各都道府県協会が着手したらよいと思う。

つまり、日本ハンドボール協会の組織である47都道府県協会がそれぞれ「直営」のチームを持つのだ。

## 高知県における現状と打開策

……熊沢徹郎

高体連も二十周年の成人式を迎えた今日、高校でハンドボール競技を経験した選手数は全国的にももちろん、本県においてもかなりの数にのぼるだろう。しかしなが

協会役員の一人在りチーム責任者となり、協会の名をもって月1~2回、グラウンドなり体育館を借りる。そして、試合の相手には、加盟チームの中から学生でも実業団でも高校のOB会でも選べばよい。

こうしたシステムが確立されれば、仮に転動してもすぐその県の協会チームに入ってハンドボールに親しめることも出来る。

自信があれば「協会チーム」として全日本や国体の予選に出てもよいだろう。

理想はこれが、さらに市協会や町協会単位になることだ。現状ではあるいは、その方が実行しやすいかもしれない。

ヨーロッパ式のクラブに一步でも近づくために、県協会直営クラブの実現を提案したい(関東学連理事・慶大OB)

本年度本県で、一般の部で協会に登録したチームはわずか一チーム(十五名)だけである。ここ数年最低の状態である。ところが県内を見渡してみると登録外に七

つぐらいのグループ活動がみられさらにグループは増える傾向さへある。このグループは各校OB連中が定期的にハンドボールを楽しんでいるもので、後輩の指導を兼ねたOBの集りが、これからの高校生に刺激を与えていることを考

えるとき、本県におけるクラブの指導的役割を無視することはできない。ともあれ本県においてハンドボールは普及発展の方向に進んでいるものと解釈してさしつかえ

なからう。さて問題はどのようなグループが何故クラブチームとして協会に登録をしないのか、或は

しなくなったのだろうか、ということである。諸々の理由があるろうが私としては次の三点がもっとも

大きな理由としてあげられるように思う。(一)選手(高校生)の県外流出、(二)全国大会特に国体出場

の機会が薄くなった。(三)登録料が高い(中央への加盟分担金の割当分も含まれる)。国体出場をめざすに

は県選抜の勝つためのチームを作る必要があるが、OB中心の所謂クラブチームと別に県の選抜チームを作るとなるとかえってOBク

クラブでは、レギュラー選手の不

足でなかなか代表権を獲得することがむづかしい。そうすると自然と、高い登録料を出してもという

気持がうすれる。個人の割り勘で登録料を集めれば安いものではないかと言われようが実際払う身

になればそうもいかない。全国大会出場目標がなければ尚の事登録料が高く感じる。機関誌は後輩

のものを読まばまにあうし、試合もOB同志で又後輩との練習試合で結構楽しめる。そういった試合

を協会が禁止させることは出来ない。(一)(二)の理由は相互に関連づけられていようである。登録外

の同好会的存在のチームを協会に所属させハンドボール競技を普及させることが地方の協会を預る者の努めでもあるがその打開策として関係クラブのチーム育成への情熱をお願いすると共に日本ハンドボール協会にも次の事を検討してもらいたい。

が当然であるような錯覚を起させる荒い面が見られる。つまりルール解釈上の問題点がある。老人？にも手軽に競技が出来るよう又見る者からわかりやすい競技として親まれるように努力することが必要である。例はOBと高校生との結びつきを強化することによりクラブチームの育成をはかることを目的とするのである。

ようするに登録料が実質的に安くなる方法として、同好会的なクラブチームにもなにかの目標をもたし、又その目標に対し可能性を与えてやる事、より多くの者が楽

## 登録料を2段階に

……河村 浩

クラブチームが年々減少して行くことは、若い世代の「現代性」も原因しているが、日本協会の登録システムにも問題があると思う。例えば、現行では一般男子は年間二千三百円と人数分の百円倍を日本協会へ納め、さらに地方協会へも規定額をおさめなければならぬ。それで、全国大会にでも出られるならともかく、ほとんどその道は閉ざされている。わずかな間1〜2試合のためにそれだけ払うのならいっそ登録をやめてしまおうということになるのもムリはない話である。

そこで、この機に提案したい。日本協会の登録をA登録とB登録

しめる競技としてのハンドボールにする事が出来れば自然とクラブチームの登録も増加するのではないだろうか。実業団チームが多くなった今日、強くなるだけがクラブチームの使命でもなかる。ハンドボールの底辺拡大に努力しいつまでも競技に親しむ連中の憩の場にするのもこれからのクラブチームの進む一つの道ではないだろうか。全国のクラブチーム諸氏に明日への希望を又日本ハンドボール協会には暖かい御配慮を最後にお願ひしておく。(高知協会常務理事、土佐高OB)

に分けるのだ。A登録は現行どおりとし、B登録は、基本金千円のみにおさえそれを日本協会が六〇〇円。地方協会四百円にさらに分配する。機関誌の購読は「希望チーム」にする。B登録のチームはただし、国体を除いては県大会以上

## 国体の規制、クラブ大会の推進など

……荒井 豊

クラブチームの意欲をなくしてゐるのは、全日本、国体に入った進出の道がなくなつて来ていることにあるだろう。

クラブ再興の打開はこの一点を考りよすることによって大きな解決をみる事ができると思う。

の大会には出られないとするのだ。県大会やブロック大会が全国大会予選を兼ねている場合例え優勝しても代表権を得られないとするのは表面上酷だが、その程度の差別はしかたがない。

クラブチームが減少することは球界財政の危機にもつながるわけだから、それを防ぐためにはクラブの負担を軽くするという誘い水も必要なのである。

全国にいま高校チームが一千校あるそうだが、その八割はOBチームを作り得るとみてよい。しかし日本協会へ登録しているチームとなるとおそらくその半数にも満たないのではないか。

これだけの「人資源」「財源」を放置しておくのはもったいないことではないか。

クラブ育成というテーマのみでその実態調査を日本協会があまり行っていないように見うけられるも非難されてよいのではないか(神戸市在住)

場を規制するのも一法だと思ふ。またクラブの全国タイトルを設けて欲しい。全日本クラブ選手権はとも事情が許さない(クラブ側の……)ので、せめて東地区、中地区、西地区ぐらいに分けてその3代表によってクラブチャンピオン決定リーグというのは夢か。出場チームに金銭的補助を与えるという考えはますます夢であろうか(大阪府在住)

## 山本陽司

機関誌によつて知ったことだが体協(あるいは国?)から交附されてゐるスポーツ振興金60万円を六つの全日本選手権に分配しているくらいなら、これをクラブの育成に日本協会を使うべきだと思ふ。この金額で全国的なクラブ大会が開けるとは思わぬが、クラブ育成のあい路となつてゐるのはやはり財源であり、これを基金にクラブのための企画を推進して下さい。現実からすれば、クラブの全国大会を開いたとしても、それへ参加できるのは限られた数であろう。クラブの活動範囲としてはブロックが精いっぱいなのである。具体的にいえば一泊二日が限界だ。地方協会の動きをみてみると、頂点強化にはばかり力を注ぎクラブについては関心を示すだけで積極的にその育成を考へてはいていないか。

## 白石喜一郎

日本協会が音頭をとつて、各ブロック毎にクラブ大会を開くよう指示し、その活動、運営資金としてスポーツ振興資金60万円があてられることを望みたい。なにごともしもトップレベル中心主義、中央中心主義であつて、底辺のチームは入場券の売り捌き機関だと考へてゐるような姿勢は反省して欲しい(東京都在住)

クラブチームの育成のために次の提案をしたい。

- 一、純粋なクラブチームは日本協会には名義登録のみとして、登録料は地方協会分だけとする。
- 一、実業団、学生の出られない大会を企画する。当分の間、国体をその代りとする。
- 一、各地区の学連は年一回OB大会を開くようにする。
- 一、クラブ関係者を最低一人は地方協会の役員(理事)とするように日本協会が各地方協会に指令する。クラブの横のつながりが生まれ(対他県)縦のつながり(対同県内のクラブ)が強化される。
- 一、実業団(会社)チームに、その会社の社員以外の者でも参加できることを研究する。
- 一、県や市で総合大会を開く場合、1回戦の敗者による試合(敗者復活戦又は慰安試合)を行うことを慣例化する。(東京都在住)

# 愛知クラブ連盟の現況と問題点

……太田耕治

当連盟の現況 (一) 当連盟は、昭和四一年、名古屋市内附近に基礎を置く六クラブで発足、現在一四チームとなり、更に数チームの加盟が予定されている。この他県下には、豊橋市を中心とする約六チームより成る団体もある。又県下には両団体に加入していないクラブが二、三ある。

(一) 当連盟の参加資格は、年二回のリーグ戦に参加することである (一) 当連盟の主たる行事は、年三回のリーグ戦であり、各リーグ戦は、それぞれ全日本総合、国体、東海室内への予選の意味をもっている。

リーグ戦は、一四チームを、一部六チーム、二部変則総当り、合計三二試合の形式をとり、金山体育館を使用し、ウィークデーの後六時より九時迄に各三試合を行うのである。審判は各クラブから出し、時折県協会の指導を仰いでいる。経費は、一リーグ戦につき体育館使用料として約五万五千円を要し、各チーム四千円宛負担している。

(一) 一四チームの内訳は、大学OBチーム三、高校OBチーム一〇、中学OBチーム一である。中学OB

チームは地区の集合体であり、クラブチームとして非常に好ましいので、この種チームの増加が希望されている。

チームの実力については、一部リーグ中、中京クラブ、桜丘会等東海地方屈指の実力を有しており、他面二部リーグはハンドボールを棄しもうとするチームであり、極めて好ましい構成となっている。

当連盟における問題点 (一) 県内のクラブ組織が未成熟であること。

既述のように、県内のクラブは、当連盟、豊橋協会、いずれにも加盟しないもの三者に分れている。従って、クラブチーム全体の問題について協議が不十分であり、他面全国大会の予選についてその都度話し合いを持たなければならぬことになる。従って、なるべく早く県内のクラブを一九にした組織を作り、その中で、名古屋リーグ豊橋リーグを行い、リーグ戦不参加のチームにも練習試合の機会を与えられるようにしたいと考えている。

(一) 統制の困難さについて。クラブチームは、社会に分れている人達が試合や練習の機会に集まるもので、その本質上高校、大学卒業

団に比し、統制がとりにくい。リーグ戦での試合管理、審判等についても、ややもすると責任を果さないチームがあり、一部有志の尽力がなければ円滑な進行を期し難いのが現状である。又選手不足(仕事の関係での欠席による)による試合放棄も悩みの種であるが最近では一リーグ戦で試合放棄は一つ程度となった。その場合試合管理者が即席にチームを作って練習試合を行うなどの処置をとっている。

放棄チームに対する制裁も種々事情があつて困難なことが多い。尚当リーグは、主として教職員よりなる愛教クというチームがあり諸先生にいろいろ下働きをして頂いている現状である。

(一) 練習と指導者。クラブの活動が試合中心にならないよう、毎月一回程度体育館を借用したいと思つているが、名古屋市には公立の体育館が二つしかなく、殆ど練習が不可能である。又たまに借受けても練習参加者が少く、近い将来新聞紙上に予告する等して、各チームのメンバーが個人として参加し、かつ一般の人達も参加して練習ができるよう考慮中である。それが実現した場合は協会にお願いして、然るべき指導者を派遣して貰う予定である。

(一) クラブチームのあり方と対外試合。伝統的な考え方は、クラブこれスポーツの神ずいであると考

えられてきたのであるが、昨今のきびしいスポーツ事情のもとでは、もはやクラブでは強力な実力をもつことは難と思われ。経済的にも時間的にも、又人的にもあいい路が多すぎるのが実情である。従つて、私個人としては、好きな者がハンドボールを楽しむのがクラブであり、その場所を提供するのが連盟の仕事であると考えている。

私の畏友であり実連の理事長である田中氏からは、日頃県下クラブの統一、県大会から東海選手権更に全日本へと発展的に進むよう鞭達を受けているが、未だ一般的に時期尚早の感がある。しかし最近岐阜にもクラブリーグが発足した由、明年中には、当名古屋市に於て東海選手権を行いたいと考えているので、この紙上をお借りして東海の各チームの参加をお願いする次第である。

(一) 最後にクラブ関係は、その本質上基盤が極めて弱いので、将来日本協会のお力を拝借しなければならぬことが多々あると思ひます。この紙上討論の場を借りまして、よろしくお願申上げます(愛知県クラブリーグ連盟理事長)

編集部では読者各位からの寄稿をつのる一方、現在活発な動きを示しているクラブの中から三者(女子一)を選んでその実情を伝えたいと思ひました。

## 特別寄稿

### 大阪スターズの場合

田井稔乃

女子のクラブは近年実業団の急激な拡充にあつて、その立ち場はまったく苦しいものがあります。大きな大会に出場しても一般女子の種別なため実業団との力の差が大きく互格に戦えません。練習時間をはじめとして、すべての面で実業団とは比べものにならない条件でやっているので、同一の大会で対等に戦うのはどうしても無理です。クラブがもつと増え、クラブのみの全国大会が開かれればといつも思つていました。

大阪スターズは43年3月の創立でOG会を持たない高校卒業生以上の人を対象に誰でも入会できま

す。

練習は月一回を「例会」とし、大会前は日曜と水曜日の夜間に行つています。しかし固定した練習会場がなく、ボールさえも満足に揃っていません。このほか出身校がまちまちなため、連絡がとりにくく、OLがメンバーのため遠征の際に休暇をとりにくいという悩みもあります。

遠征などの経費はすべて自己負担で、このほか年間一定のクラブ費を集めています。

女子のクラブは愛着だけがささ

えですが、各地にOG会が活発に動きはじめるとを期待し私たちもいつそうハンドボールへの情熱を燃やしつづけたいと考えています。(大阪スターズ主将)

### 特別寄稿

#### 水見クラブの(富山)場合

桶家 寛

まず最初に現在の水見クラブはいかにしてクラブ活動を行っているかと云う現況より申し上げます。わが水見クラブは水見高校ハンドボールクラブのO・Bを主体として組織されています。これは決してO・B以外の人達を入れないと云う事ではなく中学卒やハンドボールをやりたいと思っている同好の人達がいればいつでも仲間になっていただけるだけの心の準備と門はいつでも開いてあります。現在チームから去ったものもおればいまもってハンドボールを続けている人達もいる。このような同好の志の集りでありながらチームには種々の困難な問題がひかえている。

第一に、クラブが活動してゆく上において人の和だけではないかんともしがたいことがある。それは活動資金でありこの調達に非常にむずかしく企業関係や各種団体等のバックアップや援助もないのが

クラブチームの現状であり結局は個人々の負担を持ってそのチームの資金としてチーム運営をやつてゆかねばならないのであります。

第二に、各種大会の出場においても、個人々の勤務先の許可を得ねば出場出来ない現状である。監督やマネージャーがこれらのことについて気を配ってメンバーの確保に一先懸命になっているのである。第三には練習についても実業団チームや大学クラブと異なってお互に局面の打開を話し合いながら練習をつんでいるのであり個人々々の勤務の時間の関係もあってまとまったメンバーで練習が出来ないので個々の勤務日程を出し合つて多数集まれる日を選んでチームの練習日程を組み、最小にして最大の効果のある様に努力しているわけです。又チームメンバーの少ない時には、母校や中学の指導育成に力をかけて少しでもハンドボール人口の増加を願って努力いたしているわけです。これらいくつかの問題をかかえながらクラブチームが細ぼそと続いてゆくその根強い理由を考えて見ますと、ハンドボール競技そのものに対する愛情ともいわれる感情はかくしきれないものがあると思えますが、もう一つ考えねばならないことは年に唯一回全国民挙げての国民大会に出場出来ること云うことです。

この大会は、年間の努力の積み重ねを発表する唯一の機会であり各県、各企業までがその成果を期待してもらえらる大会でもあります。年々各競技についていえること

ですが、企業スポーツと申しますか、実業団の台頭はめざましいものがあります。クラブチームがその成果を国体にもとめる理由は、論をまたないとありますが、ほとんどを占める実業団チームの中で一回戦か、二回戦位まで進むのがやつという状態である。如何に現代の時流とはいえだんだんとクラブチームの存続が精神的な面で困難な状態になって来ることにこれはなるう。

次に日本ハンドボール界の底辺拡充として大切なクラブチームを日本協会は大事にしなくてはいいのかわるか?という疑問がクラブ関係者ならずとも生じてこよう。

国体一般男女に於ける出場資格を検討する必要があるのではないかと、ここでアマチュアリズムを問題にしようとは思わぬがが少なくともこの国体を期してクラブチームを全国から参集し、その成果を全国各県民に認めてもらえらる状態にしてほしいと云うことです。クラブチームの運命の如何は全国ハンドボール界の底辺拡大に大きな影響を与えるものと考えられ、先にも挙げた様に競技そのものに対する愛情を実践の形ではなくなる

こと自明である。わけでも指導者の不足している本競技では中学、高校のチーム造り、チーム強化がだんだんと期待出来なくなること

も明らかである。

もし日本協会がハンドボール普及・発展を老えるならばなんらかの形で全国クラブチーム事情を真剣に考えねばならない時期ではなからうか、ここに強くこの問題に關しての御検討をお願いすると同時に次の2点を提案して結びたい。

- 1、国体における一般の組み合せを実業団チームとクラブチームとに分けてそれぞれのベスト8~4によって再度抽選により名実共の国体の優勝チームの決定この場合には当然各ブロック毎の実業団及びクラブチームの選出チーム数の制限をよぎなくされることにならうと思ふ。
- 2、日本協会でクラブチームの育成と底辺拡充という観点からクラブチームに対する登録金の還元(有効な)方法を考えてもらえぬものか。(水見ク責任者)

### 特別寄稿

#### A・O・K(栃木)の場合

板屋雅彦

当クラブは足利工高のOB会で母校のグラウンドで毎日曜日約4時

間現役と合同練習を行いハンドボールへの愛着を燃やしつづけており、年間の最大目標は国体の出場

においでいる。

クラブの運営費は会(部)員から一ヶ月三百円を徴収し、プロック大会や全国大会などに出場する場合は支援者からの寄附を募つて費用にあてている。

しかし、当クラブに限らず全国のクラブチームがそうであるように、運営上の悩みはまことに大きなものがある。

特に、会員の職業がまちまちであるために週一回の練習への集合状態も必しも思わしいものではなく、ムリをすれば各自職場での立ち場に不都合なことがしばしば生じてくる。

また、工業高校という母校の性格上、遠方へ就職する者が多く新入会員の確保が難しいといった問題もおきてくる。

こうした問題点をはねのけながらクラブをつづけているのは、ハンドボールへの情熱とすじだからであり、それだけにチームのまとまりというものは抜群であると思ふ。

われわれのようなクラブのため日本協会がクラブ大会の開催を真げんに検討されることを強く望みたい。

(A・O・K責任者)

# チェコ・国際ハンドボール選手と他競技の選手の 身体機能の状況

V. ドラジール, K. コスナール, J. マテジユコーバ, J. ルース, L. バンク

ここでは、ナショナルプレーヤー、チェコのプレーヤーおよびバレーボール、バスケットボールのそれぞれ優秀なプレーヤー20名を集め測定した結果を報告しよう。各選手はこれからシーズンに入ろうとする準備期間に測定した。

### 年齢

男子も女子もチェコのプレーヤーがもっとも年をとっているが、その違いはさしたる意味をもたない。

### 職業

チェコの場合には肉体労働に従事しているものが多い。この傾向はハンドボールの場合、国際的にも認められる。

これに反し、バレー、バスケットの場合には、肉体労働に従事しているものはきわめて僅かである

### 練習時間

チェコのハンドボール選手は男女とも練習時間が短い。もちろん練習のよりよい手段でこれを補うことは可能である。

### 身体機能測定結果

#### 外見的な身体

この結果では、チェコの男子選手は脂肪の蓄積の度合(Fett)と表に記載したもの)が大きいということがある。国際ハンドボールの選手、また特にバスケットボールの選手はこの年齢の標準的な人間の平均(15%)を大きく下ま

わっている。

女子の場合にはバスケットが標準を(20~25%)大きく下廻っている。あとの三つは大同小異であり、とりたてていうほどのことではない。

脂肪が多いということは単にトレーニングだけの問題でなく、体質にもよるものであろう。

身長はバスケット、バレーの場合には、特に大きいものを選びねばならない競技の特質による。

肺活量はスポーツ選手の場合、男子では60、女子では50が最低限とされている。

#### 機能面

血圧、脈膊は5分間にわたって測定した。

男子では、バレー、バスケット、ナショナル選手、チェコ選手。

女子ではバスケット、バレー、ぐっと離れて、ナショナル選手、チェコ選手になった。

ハンドボール選手の間では、男女ともナショナル・チェコ間にはほとんど差異を認められない。

ハンドボールが非常にハードな競技であることがはっきりしているだけにこの結果は意外であった

#### ESG曲線

同時にESG曲線の測定も行った。静止時と作業後すぐに測定した。その結果、特徴的な事が発見された。

男子では、バスケット、バレー

チェコハンドボール、ナショナルハンドボールの順であり、女子では、バスケット、バレー、ずっと離れてハンドボールという形をとった。ハンドボールに関してはチェコ選手もインターナショナル選手も意味のある差は足られない。心臓の大きさ

レントゲンで測定した心臓の大きさを表にした。

男子では、チェコのハンドボール選手が最少で、インターナショナルの選手がkg当り最大であった。女子では、バスケットの選手がとびぬけて大きく、ハンドボールの間では、ほとんど差は見られない

### 要約

我々はチェコ・インターナショナルの選手との間、またバレー、バスケットの選手の間を比較することによって、身体的な条件の違いを見出そうと試みた。

男子について、ハンドボール相互を比較した場合、年齢、練習時間、身体鍛練(脂肪の蓄積)の面で、インターナショナルの選手とチェコの選手の差を大きく感じざるを得ない。しかし機能面を見た場合には両者はほとんど差がない。ただレントゲンによる心臓だけはかなりの差があるが...

しかし、このようにした場合、ハンドボールと他の二競技の場合には、差の見られるものがかかり

日本ハンドボール協会公認



## ゴールドスター ハンドボール シューズ



岡山釣鐘工業株式会社 東京

ある。  
一方、女子では、ハンドボール相互の間での差異は男子ほど見られず、むしろほとんど同一といわれて良いぐらいである。しかし、他競技、特にバスケットボールの選手との間には非常に大きな差がある。


手との間に非常に大きな差異があるとは考えられない。  
これをもって、バレー選手の体力がハンドボール選手より上にあるというようなことを云うのは正当ではない。  
これは練習内容と練習方法によるものが主であろう。  
他競技では、通年にわたって、多くの体力作り、特に走りこみを

行なっている。それも十分にきびしい内容と方法をもって行なわれている。このことが大きな差を生み出す要因になったのであろう。  
特に女子の場合、ハンドボールの練習内容が問題になってくるのは当然であろう。  
表になっている事柄はある程度努力によって、改善されるべきものが多くある。

どうしても努力が必要である。冬期における練習に走ることを十分にやりさへすれば、これらの他競技、あるいはインターナショナルな選手の域に追いつくことができよう。  
何よりもオフにしっかりと休養をすることがいかに肝要なことかこの表は教えてくれている。  
(抄訳 藤本 強)

選手名	年齢	仕事		1週の練習時間	体重 (kg)	身長 (cm)	Fett	肺活量		血圧		良	ESG曲線	心臓の大きさ		
		精神%	肉体%					cd/l	kg	静	動			%	cd	cd/kg
チェコ	男28.0	18	82	4	79.3±7.6	174.0±8.1	118.1	61.7±8.6	61.115	124/80	180/55	45	9	36	124.2±24.7	1.60±0.33
	女25.0	25	75	4~6	62.5±4.4	163.7±4.4	20.7	54.3±9.0	71.144	121/78	158/73	12.537	562.5	0	106.3±7.6	1.71±0.13
国際	男24.0	50	50	4~6	73.5±5.2	176.0±5.8	112.3	65.4±8.5	64.114	123/77	176/54	55	20	35	134.7±14.5	1.82±0.21
	女23.3	50	50	4~6	64.8±7.1	166.7±4.3	21.7	50.4±8.8	70.131	116/75	169/54	15	25	0	109.9±14.9	1.70±0.19
ハンドボール	男26.2	80	20	7.5~10	80.3±7.8	185.4±6.7	14.0	68.0±7.7	58.106	124/76	164/59	75	5	25	135.5±13.1	1.69±0.24
	女25.0	80	20	6	66.5±5.9	167.6±4.1	20.7	55.4±6.9	63.124	114/74	165/59	50	20	25	111.0±11.8	1.68±0.14
バスケットボール	男24.1	100	0	6	82.4±6.8	186.2±9.6	10.6	66.4±8.3	66.116	26/76	176/58	60	10	50	147.5±19.2	1.79±0.21
	女22.5	90	10	6~8	67.4±8.0	171.0±6.7	14.2	55.7±6.0	71.127	116/74	157/61	60	10	30	122.1±13.8	1.82±0.22

日本ハンドボール協会検定球




東京

新製品！

**チェコ型**

→



大阪

タチカラ株式会社



ハンドボールの歩み(第14回)

ギョッピンゲン連覇

ヨーロッパカップ編④

男子第4回ヨーロッパ杯は1961年~1962年に開かれていた。1960~1961年の大会は世界選手権が開かれたので行なわれていない。

前回の参加15チームから、この大会は参加チームが大巾に増え、20チームが参加している。しかしハンガリーのスペルククス・ブダペストは棄権したので、実際の参加は19チームであった。初参加はモロッコ、ソ連、東ドイツの諸国であり、スペインが復活した。

グラノラー	28-13	スタデ・モロケイン	(モロッコ)
ス・バルセロナ	(スペイン)		
ニロス・アムステルダム	(オランダ)	27-10	S.C.アールゼッテ
ヴルベエスト	26-11	ブルグセン	(ルクセンブルグ)
フ(ソ連)	一回戦	アーセナー	ル・ヘルシ
ニルス・アムステルダム	(オランダ)	34-7	フレマール
FA・ギョッピンゲン	(西ドイツ)	33-21	ブラツセル
パルチザン	ブルチザン	ア・TRV	リント
ブルチザン	(ユーゴスラビア)	19-9	ス・バルセル
ジョワンピ	ル・パリ	9-7	DFK・ライプツヒ
DFK・ライプツヒ	(東独)	39-16	デュクラ
デュクラ	(チェコ)	24-17	BSV・ペ
BSV・ペ	ス	27-19	VIF・ヘ
VIF・ヘ	グリンゲン	22-16	GF・デ
グリンゲン	(スウェーデン)		
アルフス	22-16	ノルドスタ	ロド・オス
GF・デ	ンマーク	ウエー	ノル

まず予選の三試合が行なわれた。新顔のDFK、ライプツヒに一敗しているのが注目される。比較的近い国々同士の対戦が行なわれている。ダイナモとDFKの対戦を除いてはいずれも大差で勝負が決っている。

準々決勝

FA・ギョッピンゲン	11-8	ジョワンピ	ル・パリ
パルチザン	18-10	BSV・ペ	ルン
デュクラ	19-18	DFK・	ライプツヒ
アルフス	21-19	VIF・ヘ	グリンゲン

ダイナモを破り、準々決勝に進出したDFK・ライプツヒはデュクラ・プラーグに1点差で破れ準決勝に進出することはできなかったが、そのチーム力の充実さは今後を大いに期待させた。スウェーデン・デンマークも7人制の古豪同士の争いで、前回も準々決勝で顔が合い、一点差の好試合、今回も互にゆずれぬ好試合となったが僅かにアルフスが優り、準決勝に進んだ。

準決勝は西欧圏2、東欧圏2の対戦となった。

FA・ギョッピンゲン	13-8	デュクラ	プラーグ
パルチザン	14-13	アルフス	GF

ギョッピンゲンはデュクラに快

勝したが、ブジュロバルとアルフスは接戦、互にゆずれぬシューゲームを展開し、11-11の同点で第一延長に入ったが、これがおわっても、まだ同点、結局第二延長にもつれこみ、一点を多くもぎとったパルチザン・ブジュロバルが決勝に進出した。前回は一回戦にデュクラに大差で破れたユーゴのチームが今回は良く成長し、ついに決勝に進出を果たしたことは特筆すべきことである。東欧圏に強チームは続出しはじめた傾向をこのヨーロッパ杯の中からも読みとることができよう。

決勝 1962年4月7日パリ

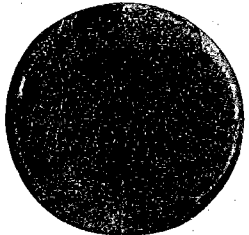
FA・ギョッピンゲン	13-11	パルチザン	ブジュロバル
------------	-------	-------	--------

結局、FA・ギョッピンゲンが連覇したが、チーム力の差はぐつと縮まっている。一回戦方式であったのでその日の好不調が大きくゲームに作用した。ギョッピンゲン、ブジュロバル、アルフス、デュクラ・プラーグ、VIF・ヘ、グリンゲン、DFK・ライプツヒ、ダイナモ・ブカレストの差はほとんどなく、この7チームがこの時期の本当の意味のトップチームと云えよう。

東欧圏の躍進ぶりがめだたっており、特にチェコ、ルーマニア、ユーゴ、東ドイツがきわだって力をたくわえてきている。

# ミカドハンドボール

日本ハンドボール協会公認球



東欧圏の躍進ぶりがめだたっており、特にチェコ、ルーマニア、ユーゴ、東ドイツがきわだって力をたくわえてきている。

## 三カド商会

東京・豊島・巣鴨・7丁目1696  
TEL (941) 2635・6592

本書は昨年12月にドイツのポール書店によって、発行されたものであり、総頁は96頁、多くの写真が盛り込まれたものである。

本の表題は「国際ハンドボール——技術と戦術・IHFの写真集」という形をとっている著者はIHFの競技委員長を1946年以来勤めているスイスのエミール・ホルル氏、写真はスポーツ写真というよりもハンドボールの写真の専門家、西ドイツのハンス・アップフェル氏によるものである。

順を追って、紹介していこうまず最初にIHFの歴史、現在の状況、競技の概要などが略述される。次にハンドボールとはいかにすぐれた競技なのかというところが、心身組織の全体的な鍛練ができるということを中心に述べられている。

ハンドボールの種類の違いが室内・屋外7人制、屋外11人制にわけて説かれる。その後、攻守の方法が写真をおりこみながら略述されている。

その後、本書の中でルール上から云って最重要と思われる現在のルールの問題点が述べられている。ここに提示されている問題は最近の国際審判員講習会などで度々討論されている

問題であり、公式見解はルールブックに原註という形で示されている。それは次のようなものである。

1)、三步のルールについて、空中でキヤッチした場合について述べられている。

2)、相手からボールをとる時について、相手に触れずに、いかにボールをカットするか、技術が洗練されねばならないことを説いている。

3)、ブロックについて、体でたぢふさがること、これも技術の洗練がいかに必要であるかを説いている

4)、7mスローについて、ディフェンスの反則をシュートの成否を見てから厳しくとれとしている。

5)、ストリーキングについて、これも問題があるが、レフェリーは、フェア・プレーと正義によって判断しろとしている。

以上の問題点は現行の我が国のルールと変るところはない。この中で、ホルル氏は選手には技術を洗練すること。レフェリーには選手は、チームの戦術を最大限に生かせるようなジャッジをするように強調している。ここまで

は、写真はときたま折りこまれる程度であるが、この後は各頁すべ

## 新刊紹介

エミール・ホルル著  
ハンス・アップフェル写真

## 国際ハンドボール

——技術と戦術・IHF写真集——

てが写真集という形をとる。まず技術の項では、ドリブルがとりあげられ、ソ連、ドイツの選手の写真为例にとつて解説がなされている。次にパス、ここではトリックパスが試合中のスナップによって説明されている。バックハンドパス、フェイントパスそれに続くブロックプレーが示されている。次にパスフェイントが説かれる。ここではボールの魔術師エディ・ステプラー(スイス)が登場する。彼の定評あるフェイント・パスが利用されて、説明がなされ

てが写真集という形をとる。

まず技術の項では、ドリブルがとりあげられ、ソ連、ドイツの選手の写真为例にとつて解説がなされている。次にパス、ここではトリックパスが試合中のスナップによって説明されている。バックハンドパス、フェイントパスそれに続くブロックプレーが示されている。次にパスフェイントが説かれる。ここではボールの魔術師エディ・ステプラー(スイス)が登場する。彼の定評あるフェイント・パスが利用されて、説明がなされ

ユートがゴールキーパーとして図示される。その後がルールに違反しないカットと7mスローになるような反則が試合場面でとらえられ、ついで退場の場面が登場する。その後は各国選手の7mスローのフォーミュラが図示されている。ここにはステプラー、ワルダー(スイス)、エリクスン(スウェーデン)、コズメール(西ドイツ)が登場する。この後はコンビネーションプレーが図示される。まずフリースロー、ついで守備陣形(3:3、5:1、4:2)についてポストへのパス、反撃速攻、ブロック、マンツウマンと続き、すべて試合場面に於けるスナップである。多くの有名選手、有名レフェリーが登場する。次の項は有名ゴールキーパーとしてマトリン(スウェーデン)、ヴィチャ(チェコ)、ホルスト(デンマーク)が登場し、有名フェルドプレーヤーとして、ハブリク(チェコ)、ティエマン(東ドイツ)、モーゼル(ルーマニア)、リョーピング(西ドイツ)、マルス(チェコ)が登場する。

この後は、女子のハンドボールがかなりの紙数を使い紹介される。ジュニア、少年、幼年のハンドボ

ユートがゴールキーパーとして図示される。その後がルールに違反しないカットと7mスローになるような反則が試合場面でとらえられ、ついで退場の場面が登場する。その後は各国選手の7mスローのフォーミュラが図示されている。ここにはステプラー、ワルダー(スイス)、エリクスン(スウェーデン)、コズメール(西ドイツ)が登場する。この後はコンビネーションプレーが図示される。まずフリースロー、ついで守備陣形(3:3、5:1、4:2)についてポストへのパス、反撃速攻、ブロック、マンツウマンと続き、すべて試合場面に於けるスナップである。多くの有名選手、有名レフェリーが登場する。次の項は有名ゴールキーパーとしてマトリン(スウェーデン)、ヴィチャ(チェコ)、ホルスト(デンマーク)が登場し、有名フェルドプレーヤーとして、ハブリク(チェコ)、ティエマン(東ドイツ)、モーゼル(ルーマニア)、リョーピング(西ドイツ)、マルス(チェコ)が登場する。

この後は、女子のハンドボールがかなりの紙数を使い紹介される。ジュニア、少年、幼年のハンドボ

ールと続く。最後に11人制ハンドボールの写真があり、筆者と撮影者紹介があつて、おわっている。ざつと見てきたが、この本の良さは文章では書き表わせない。何と云つても値打は写真である。前半の20頁は文章であるが、あとはすべて写真、しかもトップチーム同士の試合中の写真というのだから、嬉しい。文章は独仏英の三ヶ国語で書かれており、平易である。オリジナルはドイツ語だが、英仏とも原語にほぼ忠実である。二・三ニユアンスの差、校正ミスなどが英語に見られるのは残念である。三ヶ国語ともきわめて平易であるので、英語なら高等学校の先達諸君に、独仏語なら、大学で一年間独仏語を学んだ諸君なら十分に読むことができよう。ぜひ一読・一見をおすすめたい。値段は一九〇〇円ぐらいになる。

EMIL HORLE, HANSS APFEL "HANDBALL INTERNATIONAL" Pohl-Druckerei und Verlagsanstalt Otto Pohl, 31 Celle, West Germany, 1968

(T.S.F.)



# 高体連、20周年迎う(完)

高校ハンドボール界を探っていく時、そこには必ず情熱的な指導者の存在をみつけることができる。この道ひと筋といってもよいこれらリーダーたちの努力がなければこの20年間をこれほどまでに「充実」で飾ることはできなかったであろう。

ル界にとって、やがては深刻な問題になることが充分に予測できる。また高体連と日本協会間の調整といったものも、今後は強められいかねばならぬ問題の一つであろう。

特に地方において普及につとめた人たちの力は日本ハンドボール界の礎といってもさしつかえない。日本協会の組織の中で、高体連関係者の占める位置が圧倒的に大きいのも、そうした背景があるからである。

高校界には、「教育」という大きな目的があり、一方の日本協会は競技力の向上と普及が主眼である。海外雄飛といった大目標をかかげた斯界が、今後高校界に期待する大きな点は好素材の発掘である。現実、高校選手の身長リストを作成したらどうかといった意見もあり、ジュニアの育成に具

体案がねられるのも時間の問題とされている。「力・技・明朗な精神」というモットーの下に、青春を燃やしている高校界と、頂点強化を迫る協会施策がかみあうのはなかなか難しい。

こんな話がある。ある高校の選手が全日本高校優秀選手に選ばれ賞状が送られて来た。と、そのチームの指導者はその賞状をビリビリと破いてしまった。「高校チ

ームで一人だけが選ばれるのは好ましくない。日ごろ、皆で力を合わすということ強調しているのがなんにもならない」というのがその云い分である。

昨年から国体の高校の部は単独校でも混成(選抜)でもよくなった。近い将来、国体が年令別(19才をラインに少年の部と成年の部の二つだけにする)を採用する布

石ともいわれているが、それはともかく、この決定を聞いて日本協会関係者は「優秀な人材をスカウトできる」と喜んだのに対し、高体連関係者は「弱いチームの選手にも希望が与えられる」と云っていた。同じような言葉だがそれぞれ

のニュアンスははっきり異なっているのだ。もちろん、高校関係者が意識して「教育的」であるというのではない。優秀なチームを造り、優秀な選手を育てることに情熱を燃やしている人の方がむしろ多いのである。

だが、日本協会が競技力向上・頂点強化に努めれば努めるほど高校界の存在は微妙となって来よう。日本スポーツ界の大きな流れに

学生スポーツがあり、高校スポーツがある時、これはしかたのないことであろう。高校選手にとってそれはまた励みになってい

るもの事である。問題は、高校界の周辺がいかに高校スポーツの意義を理解してい

くかにかかって来る。昭和25年に発足以来、ハンドボールは体育的効果のあるスポーツとして短時日に急速な発展を遂げた。同時に日本協会も、この期間

は普及に全力を注いだ時期なのである。しかし、今後の日本協会の打ち出す施策は、これまでとはおそらく違った色が濃いものと思

像される。スポーツ少年団の促進、中学指導要領への復活などに普及の焦点があてられるようだと高校界は、

競技力向上面での対象となる可能性が強いのだ。ス界に大きな力と位置を占める

高校界と日本協会の調整を説くゆえんだ。ともあれ20周年を迎えた高体連

ハンドボール部。努力と精進と栄光が球史のすべてである。その自信と誇りによってこれか

いただけです。ら

の道を行んで欲しい。それは、日本ハンドボール界のたくましい前進を意味することに

もなるのである。(おわり)

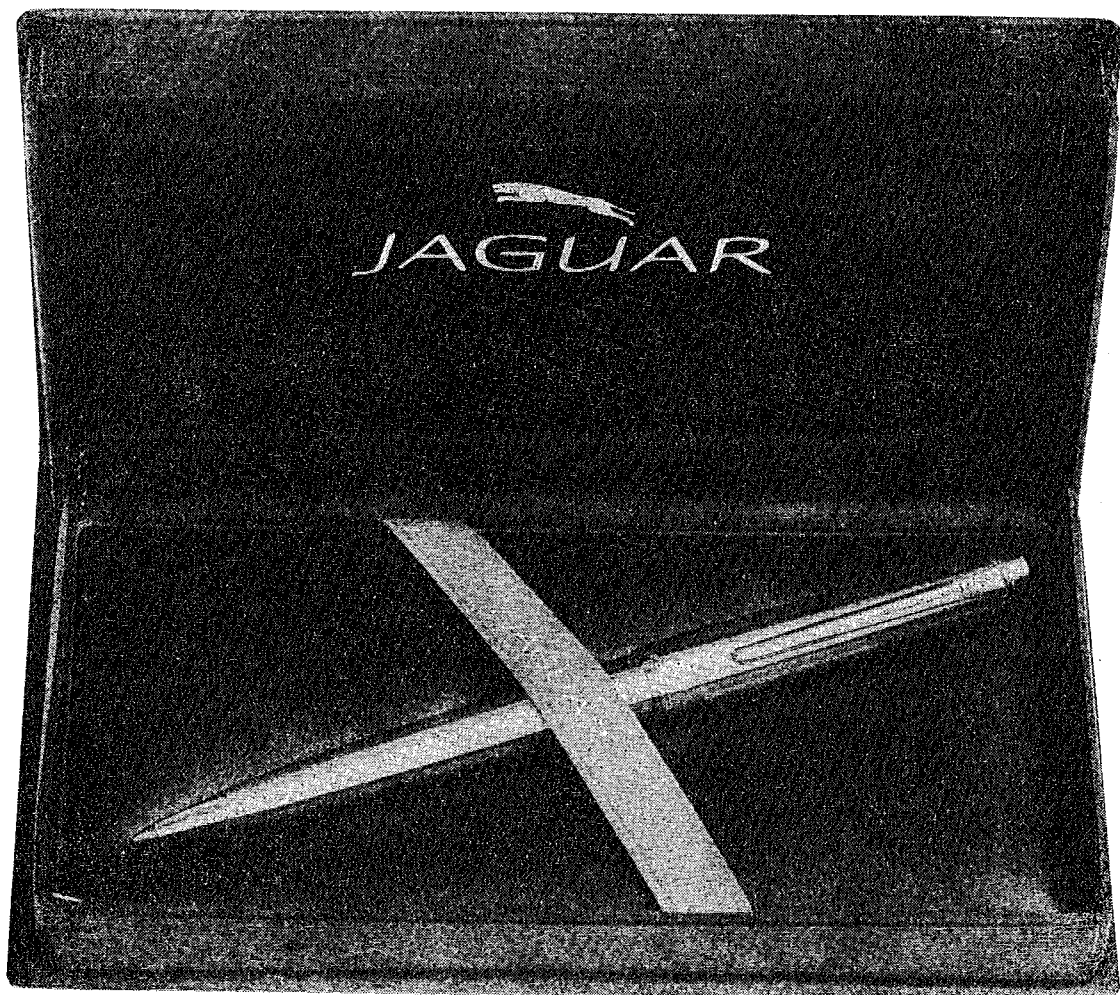
5回にわたって連載した「高体連20周年を迎えよう」は今月号をもって終わります。筆者の資料不備のため多くの読者に御めいわくをおかけしました。また各位から

助言をいただきましたことに御礼申し上げます。なお、第2回(64号)で桜台高(愛知)の公式連勝記録を55としましたところ52ではなかったか、56ではなかったかという二通りの御指適をうけました

調べなおしますと52(昭和26年1月東海大会名古屋予選・対旭ヶ丘高戦から12月中部日本大会準決勝・対清水東高戦まで)が正しいと判りました。この場で訂正させていただきます。

全国高体連ハンドボール部  
役員名簿(7月1日現在)

▽部 長	児玉 九十 (明星高校長)
▽副 部 長	徳永 陸繁 (東京) 嶋新太郎 (富山) 小袋是郎 (福岡)
▽常任委員 (13名)	石切山 治夫 (北海道・宮城) 山崎金一 (東北・長野) 油井孝正 (北信越・山梨) 清水田 仁三 (東海・愛知) 山田月三 (近畿・大阪) 望原伸昭 (中国・山) 河本武敬 (四国・愛媛) 西一上春 (九州・福選)
▽監 査	町田 歳雄 (群馬) 平田 幸男 (広島)
▽日本協会役員	嶋田新太郎 (部長) 清水 正 (副部長)



精かなきみから贈りものはジャガー  
精かな かれへ

胸から出す、ノックする、書く……  
三菱ボールペン《ジャガー》は、すべてに  
スキがありません。  
スマートなデザイン、軽快なキャップ  
スライド、ムラのない書き味《ジャガー》  
は、行動的な若いあなたに、ぴったりです

精悍なヤツ——

**ジャガー**

三菱ボールペン

¥2000・¥1000・¥800・¥500

# 全日本高校選手権 各県予選記録 (下)

★ 大字は代表校

## 北海道

▽道大会男子予選リーグA組  
室蘭清水 14-10 釧路工  
函館大谷 8-4 室蘭清水  
函館大谷 22-7 釧路工  
▽同B組  
登別 13-10 札幌商  
函館東 25-4 登別  
函館東 20-3 札幌商  
▽同C組  
北見工 不戦勝 駒大岩見沢  
室蘭工 不戦勝 駒大岩見沢  
北見工 15-14 室蘭工  
▽同決勝リーグ  
函館東 14-4 函館大谷  
北見工 15-10 函館大谷  
函館東 15-6 北見工  
【順位】①函館東②北見工③函館  
大谷  
▽同女子予選リーグA組  
紋別北 9-5 駒大岩見沢  
室蘭商 12-3 江差

## 東 北

▽同決勝  
室蘭商 12-4 室蘭東  
函館東 20-2 登別  
函館東 25-3 稚内  
室蘭東 20-1 稚内  
函館東 18-10 函館東  
室蘭東 10-8 稚内  
登別 16-5 稚内  
▽同B組  
室蘭商 7-6 駒大岩見沢  
江差 7-6 紋別北  
江差 14-3 駒大岩見沢  
室蘭商 16-3 紋別北

## 関 東

▽同準決勝  
浦和市立 11-5 浦和工  
川口工 20-9 大宮北  
朝霞 18-5 春日部  
▽同準々決勝  
川口工 15-9 大宮  
秩父 16-7 浦和南  
浦和工 17-11 草加  
春日部 11-10 聖望  
▽男子1回戦  
土浦 29-8 江戸崎  
潮来 20-10 下館一  
水海道 31-9 鉢田一  
土浦三 21-11 真壁  
波崎 13(分)13 勝田工  
抽せんで波崎高の勝ち  
▽同2回戦  
水戸一 20-8 茨城  
麻生 21-11 土浦  
竜ヶ崎一 17-11 磯原

## ▽同準決勝

秋田南 16-15 大曲  
湯沢 12-7 羽後  
秋田南 23-5 横手  
大曲 11(分)11 大曲  
秋田南 10-3 羽後  
大曲 31-5 横手  
湯沢 14-6 大曲  
大曲 13-6 羽後  
大曲 26-7 横手  
湯沢 7-3 秋田南  
【順位】①湯沢②秋田南③大曲④大曲農⑤羽後⑥横手  
▽女子決勝リーグ  
秋田和洋女 13-4 大曲  
六郷 14-5 大曲  
大曲農 8-7 大曲  
秋田和洋女 8-4 六郷  
秋田和洋女 16-1 大曲  
六郷 7-5 大曲  
【順位】①秋田和洋女②六郷③大曲農④大曲

## ▽同決勝

坂戸 33-8 秩父  
同準決勝  
朝霞 14-7 川口工  
坂戸 11-5 浦和市立  
同決勝  
坂戸 19-13 朝霞  
女子予選リーグA組  
深谷女 16-3 朝霞  
浦和南 7-5 聖望  
深谷女 8-4 聖望  
朝霞 12-5 朝霞  
浦和南 18-10 聖望  
▽同B組  
川口女 10-6 浦和市立  
熊谷商 17-4 浦和市立  
熊谷商 9-5 川口女  
▽同決勝トーナメント1回戦  
浦和南 6-5 熊谷商  
深谷女 19-2 川口女  
▽同決勝  
深谷女 6-1 浦和南

## ▽同準決勝

▽男子1回戦  
茨城  
男子1回戦  
土浦 29-8 江戸崎  
潮来 20-10 下館一  
水海道 31-9 鉢田一  
土浦三 21-11 真壁  
波崎 13(分)13 勝田工  
抽せんで波崎高の勝ち  
▽同2回戦  
水戸一 20-8 茨城  
麻生 21-11 土浦  
竜ヶ崎一 17-11 磯原

日本ハンドボール協会公認球

一番広く使はれて居る!  
セッター



望月運動用品KK

東京都墨田区横川橋4丁目6  
TEL 本所 (622) 0746

サービス部  
新宿区新宿2丁目電停前  
TEL (341) 2979・1016

▽同準々決勝	石岡商 15   10 常北	土浦工 21   12 潮来	石岡一 21   14 水海道一	笠間 15   9 土浦三	水戸工 13   10 勝田工	▽同準々決勝	竜ヶ崎一 12   10 石岡一	麻生 16   9 土浦工	石岡商 14   5 水戸工	笠間 9   7 水戸一	▽同準決勝	笠間 24   7 石岡商	麻生 14   10 竜ヶ崎一	▽同決勝	麻生 26   13 笠間	▽女子1回戦	麻生 11   3 常北	石岡商 9   5 磯原	鉢田二 19   3 岩井	日立二 15   6 水戸二	石岡二 16   1 太田二	▽同準々決勝	八郷 12   2 鉢田二	水海道二 5   2 石岡商	石岡二 7   5 日立二	笠間 7   4 麻生	▽同準決勝	水海道二 13   5 笠間	八郷 9   2 石岡二	▽同決勝	八郷 6   2 水海道二	▽男子1回戦	塩山商 17   2 吉田
--------	----------------	----------------	------------------	---------------	-----------------	--------	------------------	---------------	----------------	--------------	-------	---------------	-----------------	------	---------------	--------	--------------	--------------	---------------	----------------	----------------	--------	---------------	----------------	---------------	-------------	-------	----------------	--------------	------	---------------	--------	---------------

▽同準決勝	甲府南 14   4 谷村	都留 15   7 大月	園芸 23   8 甲府一	日川 不戦勝 東洋三	長坂 13   1 斐崎	斐崎工 11   10 甲府商	甲府工 14   7 機山	▽同準々決勝	塩山商 28   0 甲府南	園芸 21   12 都留	日川 21   4 長坂	甲府工 23   9 斐崎工	▽同準決勝	塩山商 18   6 園芸	日川 16   8 甲府工	▽同決勝	塩山商 11   4 日川	▽女子1回戦(3試合)	塩山商 9   7 第一商	山梨 9   3 園芸	甲府二 11   6 甲府商	▽同準決勝	日川 11   3 塩山商	山梨 14   5 甲府二	▽同決勝	山梨 5   4 日川	東海	▽男子予選トーナメント1回戦(1試合)	岐阜東 9   3 大垣	▽同2回戦	岐阜東 9   3 大垣
-------	---------------	--------------	---------------	------------	--------------	-----------------	---------------	--------	----------------	---------------	--------------	----------------	-------	---------------	---------------	------	---------------	-------------	---------------	-------------	----------------	-------	---------------	---------------	------	-------------	----	---------------------	--------------	-------	--------------

益田 11   6 岐阜西工	東濃実業 30   7 岐阜北	多治見北 10   6 大垣南	加納 28   2 大垣農	不破 18   10 岐阜商	斐太実 15   8 大垣北	岐阜南 21   2 岐阜東	岐阜山 20   2 斐太	▽同3回戦	益田 23   5 東農実業	加納 15   8 多治見北	斐太実 17   12 不破	岐阜山 14   6 岐阜南	▽同決勝リーグ	加納 9   7 益田	岐阜山 17   6 斐太実	斐太実 12   9 益田	岐阜山 7   2 加納	加納 21   13 斐太実	岐山 10   8 益田	【順位】①岐山②加納③斐太実④益田	▽女子予選トーナメント1回戦	岐阜商 5   2 養老女商	加納 15   3 大垣北	鶯谷 7   0 斐太	大垣 7   6 岐阜南	▽同2回戦	大垣南 8   5 岐阜商	加納 4   2 高山	本巢 8   2 鶯谷	益田 17   4 大垣	▽同決勝リーグ	大垣南 6   2 加納	益田 5(分)5 本巢
----------------	-----------------	-----------------	---------------	----------------	----------------	----------------	---------------	-------	----------------	----------------	----------------	----------------	---------	-------------	----------------	---------------	--------------	----------------	--------------	-------------------	----------------	----------------	---------------	-------------	--------------	-------	---------------	-------------	-------------	--------------	---------	--------------	-------------

本巢 3   2 大垣南	益田 5(分)5 加納	益田 9   2 大垣南	加納 2(分)2 本巢	【順位】①益田1勝2分(得19、失12)②本巢1勝2分(得10、失9)③大垣南④加納	▽男子1回戦(3試合)	津工 10   0 亀山	津 32   6 海星	四日市商 19   15 高田	▽同準決勝	四日市工 23   6 津工	四日市商 11   8 津工	▽同決勝	四日市工 14   4 四日市商	▽女子1回戦(2試合)	メリノール 4   1 白山	荻野 8   5 津山	▽同準々決勝	津女子 12   0 メリノール	四日市商 13   9 松阪女	四日市 23   0 荻野	四日市 15   4 上野商	▽同準決勝	津女子 10   4 四日市商	暁 13   2 四日市	▽同決勝	津女子 5   3 暁	近畿
--------------	-------------	--------------	-------------	--	-------------	--------------	-------------	-----------------	-------	----------------	----------------	------	------------------	-------------	----------------	-------------	--------	------------------	-----------------	---------------	----------------	-------	-----------------	--------------	------	-------------	----

▽男子1回戦	伏見工 11   10 日吉丘	洛東 22   7 同志社	塔野 17   0 同北	嵯峨野 16   14 洛北	洛星 13   6 鴨沂	城南 19   6 西京商	大谷 15   11 田川	乙訓 24   6 堀川	▽同準々決勝	平安 23   12 洛東	嵯峨野 13   6 塔南	洛星 20   9 大谷	乙訓 16   11 大谷	▽同準決勝	平安 16   12 乙訓	洛星 16   6 乙訓	▽同決勝	洛星 11   7 平安	▽女子1回戦(2試合)	精華女 19   10 洛東	塔南 13   2 鴨沂	精華女 13   11 乙訓	▽同準々決勝	嵯峨野 13   4 乙訓	明徳商 11   6 京都女	西京商 6   1 塔南	▽同準決勝	精華女 11   6 嵯峨野	西京商 7   5 明徳商	▽同決勝	精華女 9   7 西京商	▽男子1回戦	京都府
--------	-----------------	---------------	--------------	----------------	--------------	---------------	---------------	--------------	--------	---------------	---------------	--------------	---------------	-------	---------------	--------------	------	--------------	-------------	----------------	--------------	----------------	--------	---------------	----------------	--------------	-------	----------------	---------------	------	---------------	--------	-----

▽…兵庫県

▽男子1回戦	御影工 17-8	西宮東
竜野商 19-10	市神工	
明石商 15-12	鈴蘭台	
県兵庫工 26-3	有馬	
三田 19-15	村野工	
三田 30-6	市神港	
県神戸商 21-9	甲陽	
▽同2回戦	明石 14-10	御影工
尼崎工 12-7	柏原	
武庫工 21-14	三田	
県神戸商 20-6	東播工	
小野工 7-6	県兵庫	
滝川 30-7	竜野	
明石商 18-11	報徳	
県兵庫工 22-9	明石南	
▽同準々決勝	明石 16-10	小野工
武庫工 17-13	明石商	
滝川 28-7	尼崎工	
県兵庫工 11-6	県神戸商	
▽同準決勝	滝川 14-12	明石
県兵庫工 13-12	武庫工	
▽同決勝	滝川 17-14	県兵庫工
▽女子1回戦	西宮東 7-0	飾磨
須磨女 15-6	県兵庫工	
明石商 10-3	佐用	
須磨女 8-3	明石南	

▽同準々決勝	甲子園学院 7-0	西宮東
鈴蘭台 9-3	須磨女	
鳳川 17-4	県尼崎	
県神戸商 13-5	明石商	
▽同準決勝	甲子園学院 18-5	鈴蘭台
鳳川 10-9	県神戸商	
▽同決勝	甲子園学院 6-4	鳳川

▽…広島県

▽男子1回戦	修道 21-7	広島電機
三津田 13-11	呉港	
宮原 11-10	尾道	
宮商 16-14	山陽	
松本商 17-13	城北	
▽同準々決勝	呉工 20-6	修道
宮原 14-5	三津田	
三原工 18-6	松本商	
▽同準決勝	呉工 9-7	広島
三原工 22-11	宮原	
▽同決勝	三原工 21-1	呉工
▽女子1回戦(準々決勝)	山陽女 6-2	宮進
山陽女 6-1	宮進	

豊栄 8-6	戸手商	
広島一女 不戦勝	賀茂	
▽同準決勝	山陽女 14-2	呉商
広島一女 9-2	豊栄	
▽同決勝	広島一女 6-1	山陽女
▽関東つぎ▽…東京都	男子決勝リーグ	
中大附属 19-6	国立	
神代 15-4	四谷商	
明星 20-6	鷺宮	
中大附属 10-4	明星	
鷺宮 9-8	四谷商	
神代 9-2	国立	
中大附属 18-6	四谷商	
国立 4(分)4	明星	
神代 12-9	鷺宮	
中大附属 8(分)8	神代	
鷺宮 15-11	国立	
明星 18-5	四谷商	
中大附属 30-10	鷺宮	
国立 8-6	四谷商	

神代 16-8	明星
【順位】①中大附属4勝1分(得85失34)②神代4勝1分(得60失31)③明星④鷺宮⑤国立⑥四谷商	
▽女子決勝リーグ	
桜水商 4-2	菊華女
小平 7-4	佼成学園
江戸川 5(分)5	園芸
菊華女 8-3	佼成学園
桜水商 14-3	園芸
小平 11-4	江戸川
小平 6-3	桜水商
菊華女 14-1	園芸
佼成学園 11-7	江戸川
桜水商 4(分)4	佼成学園
桜華女 9-5	江戸川
小平 15-3	園芸
桜水商 16-2	江戸川
小平 7-3	菊華女
佼成学園 12-4	園芸

# 朝鮮大附高の来日内定

第2回日韓高校交歓スポーツ競技会は8月17、18、19日の3日間東京・駒沢オリンピック運動公園の諸施設を使って7競技が行われるが、ハンドボールは8月18日午後17時から全日本高校選手権東京都第一代表となった中大附属高が、19日午後14時から同選手権優勝校(8月7日決定)が駒沢体育館で対戦する。

韓国代表は朝鮮大附属高に内定同校は昨年訪韓した下関中央工が対戦し18-16で勝っているが日体大に同行した田中全日本学連理事長は7月17日全州で朝鮮大附属高の試合を観戦「恵れた体格でスケールの大きいプレーを見せ、日本チームは苦しめられそうだ」とその実力を買っている。

日本ハンドボール協会検定球

# モルテン

亀甲型 ハンドボール

MOLTEN 工業株式会社  
広島・東京・大阪



# ブロック高校選手権

全日本高校選手権のトライアル(前哨戦)——各地の高校選手権は6・7月に7大会が開かれた。

## 室蘭商が6連勝 女子

### 第20回北海道高校

6月28、29日登別高で各地区予選を勝ち抜いた男子9、女子8校が参加して行われた。

男女とも決勝ラウンドには順当な顔ぶれが進み、男子では函館東が安定した改守を示して2年連続5度目の優勝、女子は予選リーグ全勝の室蘭商と室蘭東の室蘭勢によって決勝が争われたが、室蘭商が前半から優位に立ち、後半も鮮やかな攻撃で加点、快勝した、6年連続6度目の優勝である。(予選リーグの試合記録は本誌28頁「全日本高校選手権各県予選記録・北海道」の項参照)

- ▽男子決勝リーグ
- 函館東 14 (5-1-1) 5 函館大谷 (9-1-4)
- 北見工 15 (7-1-5) 10 函館大谷 (8-1-5)
- 函館東 15 (5-1-3) 6 北見工 (10-1-3)
- 【順位】①函館東②北見工③函館大谷
- ▽女子決勝
- 室蘭商 12 (5-1-2) 4 室蘭東 (7-1-2)

## 小杉、接戦で氷見降す

### 第5回北信越高校

6月21、22日福井県・羽水高校に北信越5県の代表男子10、女子10校が参加して開かれた。

男子は、2連勝をめざす小杉(富山)が、準決勝で地元・羽水(福井)と大接戦を演じ、引き分けから抽せん勝ちで進み、その幸運を決勝でも活かして、4点の負担を後半一気にねのけて逆転勝ちを優勝した。富山代表の優勝は2年連続3度目。

- ▽男子1回戦(2試合)
- 上田 23-7 金沢泉丘 (長野) (石川)
- 柏崎工 11-10 若狭 (新潟) (福井)
- ▽同準々決勝
- 小杉 18-10 上田 (富山)
- 羽水 13-8 柏崎 (福井)

- 氷見 19-9 金沢工大附 (富山) (石川)
- 柏崎工 17-15 坂城 (長野)

- ▽同準決勝
- 小杉 16-11 16 羽水
- 抽せんで小杉高の勝ち

- 氷見 14-11 9 柏崎工
- ▽同決勝

- 小杉 16 (6-10-15) 15 氷見 (10-5-15)
- ▽女子1回戦(2試合)

- 北佐久農 9-6 若狭 (長野) (福井)
- 福井商 6-4 羽水 (福井) (石川)

- ▽同準々決勝
- 小松市女 12-6 北佐久農 (石川)
- 小杉 7-6 柏崎常盤 (富山) (新潟)
- 高岡女 10-2 卷 (富山) (新潟)
- 小諸商 9-6 福井商 (長野)

- ▽同準決勝
- 小松市女 9 (3-1-1) 3 小杉 (6-1-2)
- 小諸商 9 (5-4-3) 8 高岡女 (5-1-5)
- ▽同決勝
- 小松市女 11 (4-1-4) 4 小諸商 (7-0-0)

## 清水商と名女商

- 6月28、29日三重県・四日市工に東海4県の予選勝者男女各8校が集まり行われた。
- トップブーンにふさわしく男女とも好試合がつづいたが男子は清水商(静岡)が2連勝、女子は名女商(愛知)が2年ぶりの優勝を決めた。
- 男子は新しい力の抬頭がめだたが、名門・清水商がたくましい攻守でタイトルを守った。
- 女子はほとんどの試合が後半に勝負をかける激戦を演じ、(三重)が静岡城北(静岡)を降す波乱などもあつてもつれたが、愛知勢が粘りのあるチームプレーで決勝を争い名女商が栄冠を握った。
- ▽男子1回戦
- 静岡農 18 (6-12-3) 8 四日市工 (静岡) (三重)
- 豊橋商 13 (7-1-4) 10 加納 (愛知) (岐阜)
- 清水商 18 (6-12-3) 10 中京 (静岡) (愛知)
- 岐阜山 18 (10-8-1-1) 4 四日市商 (岐阜) (三重)
- ▽同準決勝
- 豊橋商 20 (9-11-3) 9 静岡農 (9-6-6)
- 清水商 10 (5-1-3) 6 岐阜山 (5-1-3)
- ▽同3位決定戦
- 岐阜山 15 (7-1-2) 7 静岡農 (8-1-5)
- ▽同決勝
- 清水商 19 (10-1-4) 11 豊橋商 (9-7-7)

- ▽女子1回戦
- 名古屋女 8 (2-1-1) 3 二俣 (静岡) (愛知)
- 本巣 6 (1-1-3) 4 津女子 (岐阜) (三重)
- 高蔵女 11 (5-1-2) 6 益田 (愛知) (岐阜)
- 曙 10 (4-1-4) 9 静岡城北 (三重) (静岡)
- ▽同準決勝
- 名古屋女 6 (3-1-2) 3 本巣 (3-1-1)
- 高蔵女 11 (7-1-3) 6 曙 (4-1-0)
- ▽同決勝
- 名古屋女 9 (5-1-2) 2 高蔵女 (4-0-0)
- 本巣 8 (3-1-3) 5 曙 (5-1-2)

関東などは次号詳報 月末に行われた第15回関東高校、第12回近畿高校、第19回四国高校、第19回九州高校などは次号に詳報いたします。第22回東北高校は9月16日から仙台市で開催の予定。

### 表彰式など記念行事

全国高体連ハンドボール部では創立20周年を記念して8月1日午後4時から富岡高校体育館で記念式典を開き功労者への表彰などを行う。このほか1日午後6時から富岡高校同窓会館で祝賀会を催すほか、7月31日から8月7日まで富岡高校で球界資料などの展示会を開くことになっている。



# 各地の記録

## 三菱レ大竹、6回目の栄冠

第14回中国選手権(男子のみ)は6月21、22日の両日岡山県津山市宮グラウンドに中国5県の代表16チームが参加して行われた。

ベスト・フォアには実業団3、クラブチーム1が勝ち残り三菱レ大竹と初優勝を狙う日新製鋼呉の広島勢によって決勝が争はれた。

前半は接戦となったが、後半三菱レ大竹は巧みな試合運びで日新製鋼呉の反撃をおさえ制勝、2年連続6回目の優勝を飾った。

## ▽1回戦

三菱レ大	18	(10   8)	徳山口
竹(広島)	8	(9   9)	山口
全倉敷	20	(12   4)	日本鋼管
(岡山)	8	(7   7)	(広島)
境港市役	27	(13   4)	関西
所(鳥取)	13	(14   1)	岡山
近畿大	28	(14   4)	松江球友
工学部	14	(10   4)	会(鳥根)
(広島)	14	(10   4)	14
全広島商	34	(18   6)	津山工専
大(広島)	7	(7   3)	(岡山)
下関	26	(16   10)	岡山教員
(山口)	6	(7   6)	(岡山)
岡山大	24	(12   12)	米子
(岡山)	6	(7   6)	(鳥取)
日新製鋼	19	(12   5)	山口教員
呉(広島)	1	(1   1)	(山口)
1	1	0	0

## ▽同準々決勝

三菱レ大 28 (17 | 11) 6 | 11 17 全倉敷

竹 28 (17 | 11) 6 | 11 17 全倉敷

三菱レ大 28 (17 | 11) 6 | 11 17 全倉敷

竹 28 (17 | 11) 6 | 11 17 全倉敷

境港市役 13 (7 | 6) 8 近畿大 工学部

下関 20 (11 | 9) 5 9 全広島商

日新製鋼 31 (17 | 14) 5 19 岡山大

三菱レ大 22 (13 | 9) 1 7 境港市役

日新製鋼 12 (6 | 6) 4 8 下関

## ▽同準決勝

三菱レ大 17 (10 | 7) 5 12 日新製鋼

三菱レ大 17 (10 | 7) 5 12 日新製鋼

三菱レ大 17 (10 | 7) 5 12 日新製鋼

三菱レ大 17 (10 | 7) 5 12 日新製鋼

三菱レ大 17 (10 | 7) 5 12 日新製鋼

## ▽同決勝

三菱レ大 17 (10 | 7) 5 12 日新製鋼

三菱レ大 17 (10 | 7) 5 12 日新製鋼

三菱レ大 17 (10 | 7) 5 12 日新製鋼

三菱レ大 17 (10 | 7) 5 12 日新製鋼

三菱レ大 17 (10 | 7) 5 12 日新製鋼

## ▽第15回千葉県春季総合選手権(6月・佐原市)

男子準々決勝  
千葉教員 16 | 5 千葉工大 A  
順天堂大 21 | 6 千葉工大 B  
千葉商大 16 | 9 住友千葉化学

女子準決勝  
西武 19 | 10 木更津補給所

同準決勝  
順天堂大 12 | 10 千葉教員  
千葉商大 10 | 8 西武

同決勝  
順天堂大 21 (10 | 11) 5 10 千葉商大

女子決勝  
昭和学校 8 (4 | 4) 3 5 佐原女高

## ▽女子決勝

昭和学校 8 (4 | 4) 3 5 佐原女高

同準決勝  
全涌谷 10 | 9 古川女高

同決勝  
宮二女高 6 | 3 古川商高

同決勝  
宮二女高 7 (5 | 2) 2 | 2 4 全涌谷

同決勝  
宮二女高 7 (5 | 2) 2 | 2 4 全涌谷

## ▽第6回会長杯争奪山口県実業団トーナメント(6月・下松市民体育館)

武田薬品光の好調づく

同決勝  
宮二女高 6 | 3 古川商高

同決勝  
宮二女高 7 (5 | 2) 2 | 2 4 全涌谷

同決勝  
宮二女高 7 (5 | 2) 2 | 2 4 全涌谷

同決勝  
宮二女高 7 (5 | 2) 2 | 2 4 全涌谷

## ▽1回戦(3試合)

陸上自衛隊 18 | 15 三井石油  
東洋ソーダ 24 | 21 山陽バルブ  
出光徳山 28 | 18 日本ゼオン

準決勝  
武田薬品光 29 | 20 陸上自衛隊  
出光徳山 22 | 20 東洋ソーダ

同決勝  
武田薬品光 18 (11 | 7) 11 5 | 16 出光徳山

同決勝  
仙台大 19 (10 | 9) 1 4 11 東北大

同準決勝  
全涌谷 15 | 3 祇園寺高

## ▽女子1回戦(3試合)

全涌谷 15 | 3 祇園寺高  
涌谷高 7 | 6 古川商高  
宮二女高 6 | 4 宮三女高

同準決勝  
全涌谷 10 | 9 古川女高

同決勝  
宮二女高 6 | 3 古川商高

同決勝  
宮二女高 7 (5 | 2) 2 | 2 4 全涌谷

同決勝  
宮二女高 7 (5 | 2) 2 | 2 4 全涌谷

## 鶴の森クが勝つ

三重県クラブ対抗トーナメント  
男子準決勝  
鶴ノ森ク 20 | 11 修球会  
高田高ク 15 | 9 四商ク

同決勝  
鶴ノ森ク 23 (11 | 12) 4 | 5 9 高田ク

OB大会で金山体育館に  
お別れ  
.....愛知協会

第3回小杉杯争奪30才以上愛知  
OB大会は7月13日名古屋の金山  
体育館で開かれ、愛知教員クが昨  
年につづき優勝した。2位は名大  
ク、3位愛工ク。

会場の金山体育館はこの大会を  
最後に市民ホールへ改修されるこ  
とになっており、これがお別れ試  
合。同体育館は昭和25年に開館、  
室内ハンドボールが盛んになって  
からは愛知協会のホームコートと  
して対ステラ(フランス)、対中  
国学生の国際試合を始め第3回全  
日本室内、学生東西対抗など多く  
の大会が行われ、特に近年は競技  
別利用度のうちハンドボールが最  
上位を占めるほどなじみが深く  
「ハンドボール王国愛知」のひと  
つのささえでもあった。

## ★各地の記録欄への寄稿を歓迎いた

します。市大会以上の公式記録  
を大会終了後2週間以内にお送り  
下さい。なお、原文を短かくする  
場合があります。

## 後記

インターハイ、総合、教  
職員と大きな大会が三つ  
続きます。

集

後

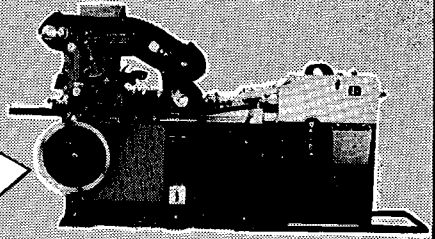
編

今年はいろいろ忙しい日々が続  
きます。

今号は二つの遠征、いずれもま  
ず好成績といって良い成績を残し  
て帰国した選手団の試合記録を中  
心にしてまとめました。

次号は夏の諸大会とこれら選手  
団の帰朝談を中心にまとめるとも  
りです。

頂点強化、この大目的のために  
現在ハンドボール界は進んでいま  
す。そのための技術・戦術面での  
一筋の光明は見えています。一筋  
といつてもかなり大きなものです  
あとは財力、情報収集その他の問  
題が残されています。残念ながら  
世界選手権基金運動の実施は延期  
になりました。より一層この趣旨  
を理解し、何とかこれを成功させ  
たいものです。今号行なった紙上  
討論の「クラブ問題」これも何と  
か解決していかなければならない  
ものです。課題はいろいろ山積し  
ています。一人一人が努力してい  
かなければ解決できません(T.F)



高性能機パーフェクトのほかにも  
たくさんのすぐれた印刷機材があります

## 印刷機械

●パーフェクト(全自動B四裁凸版印刷機) ●各種断裁機

## 材料

●引戸式ケース馬 ●スチール製和文植字台 ●パテントゲラ棚…など多種

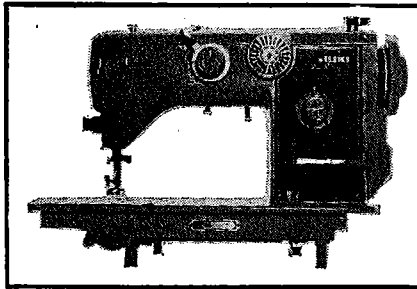
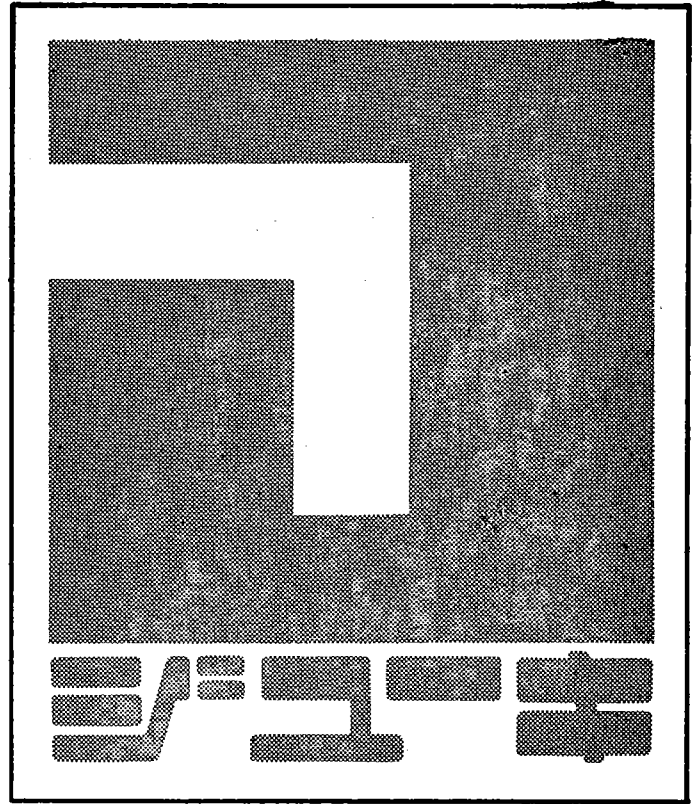
## 母型 活字 写真製版



### 千代田印刷機製造株式会社

本 社 東京都千代田区神田猿樂町1の4 電話(03)(292)2011代~8  
横浜支社 横浜市西区高島2丁目10番20号 電話(045)(441)6782代~4  
福岡支社 福岡市御供所町3番36号 電話(092)(28)3960・0153  
千葉支社 千葉市市場通り122 電話(0472)(27)6463・(22)3979  
立川工場 昭島市東町1丁目1番5号 電話(0425)(23)3471~3  
九州工場 佐賀県小城郡牛津町 電話(95207)0072

# ミシンはマークで お選び下さい



HZD-956型  
ダイカスト・フルオートジグザグ

**東京重機工業株式会社**  
本社工場 東京都調布市国領町 8丁目 2番地ノ 1電話 (480) 1111番(大代表)

日本ハンドボール協会編  
『ハンドボール』

第六十七号

昭和四十年六月七日昭和四十四年七月二十五日印刷  
第三種郵便物認可 昭和四十四年八月一日発行

発行所  
日本ハンドボール協会

東京都渋谷区神南町二五  
電話 大代表(473)二二一  
振替東京五八三四八番

編集兼  
発行人  
坂周助

定価 百五十円  
(年間購読)  
11回千二百円